日本娘の

報

日

補充計畫 はごうかさいふ

五億二千萬国の原案が出来上るには解析

標所に具然家を明示し得なかったこれ能ちその内容について政府が

所以であるさいはれてあるが何れ

海軍省で軍令部常局をの間と

9

日八十月九

1.800CC(- 4) \$5.00

走

製不足したのであった

歐洲聯盟案

一昨年事業職婦以來、お

對し

と格

無理機の少数人

加奈陀公使來滿

たる陰において政府は

一補充計畫

【毒天特體十八日整】 駅學良氏の和平通常は王樹龍氏の手で起草を終り本日正出した。その繋音は によって内國民総長に苦しみ共康指行し、外國際關係の重大に経

といふにあって極めて捕殺能なもので本年五月一日殿氏が愛した和平通常を反けないようにあって極めて捕殺能なしたのである。ことに至る裏配には孫惇芳氏の子気日から十七日にかけて決つたものである。ことに至る裏配には孫惇芳氏の子気日から十七日にかけて決つたものである。ことに至る裏配には孫惇芳氏の子気もと際眼に即じたさしたら學殿氏は是が非でも其情解の順係に顧出さざるため極めて捕殺能交空を用るた模様である

の南北軍首艦は

戦争を

散めて

平和解決

午南北代表を長宿公署に挑致し、通電内容を内示の上数

張學銘氏が近く

青島の公安局長に

でめて消極的

を發す

一行一先づ歸連

に、そ左して注意を

和平通電の内容

がによって三種の数を作ってたり かによって三種の数を行いに止めるか、 がによって三種の数を行使するか、 がによって三種の数を行使するか、 がによって三種の数を行使するか、 がによって三種の数を行じに止める

をも決定する送に至ってあない。 さも決定する送に至ってあない。 かくの如く補充能凝が容易に進ま かくの如く補充能凝が容易に進ま

発れまい

の語、軍が部さば称語展で が語、軍が部さば称語展で

学してあるが、これにつき左の短く野 であるが、これにつき左の短く野 してあるが、これにつき左の短く野 してあるが、これにつき左の短く野 を事は出来ない、回調について の政府の重大な失態、統帥橋干 でなない、回調について の政府の重大な失態、統帥橋干 では、ない、回調について の政府の重大な失態、統帥橋干 では、ない、回調について の政府の重大な失態、統帥橋干 【東京十八日餐電通】目下歸朝中 | 氏さ外務者で會見し、熊龍徹殿 の田中駐除大使は十八日午前十一 | 広龍壁に関し際地するごころあつ

軍部奉答文に反古

車事參議官對策心

遂に否決 聯盟理事後任

黨の批評

愛電道』 ロンドン條

を含見るいいに関し形

る智で既に十七日欲

では、 ・ では、 、 では、 ・ では、 ・

岡出して強底勝翼なき車が削かさ り櫃府の肚を見透した政府はキッ勝ひを政府にかけたが最早スツカ 委員長は網除の一策さして安協のなり八方塞がりさなったので伊東 【ジュネーグ十七日發電通】國際

たのはでは、 ないであらうが脱脱さして悪にして、 ないであらうが脱脱を見るに脱なる体束 ないであらうが脱脱を関係を関めても ないであらうが脱脱を関かった。 ないであらうが脱脱を関かった。 ないであらうが脱脱を関かった。 ないであらうが脱脱を関かった。 ないであらうが脱脱を関かった。 ないであらうが脱脱で心外に は極度を関かった。 ないであらうが脱脱でが、 ないであらうが脱脱でが、 ないであらうが脱脱でが、 ないであらうが脱脱でが、 ないであらうが脱脱でが、 ないであらうが脱脱でが、 ないであらうが脱脱でが、 ないであらうが脱脱でが、 ないであらうが、 ないであらうが、 ないでもには、 ないでもには、 ないでもには、 ないでもには、 ないでもには、 ないでも、 ないないでも、 ないでも、 ないでも、 ないでも、 ないでも、 の行動 廣西四川兩軍

に (本学家代軍の二ケ神殿市事に (本学家代軍の二ケ神殿市事に (大学家代軍の二ケ神殿市事) ある (本学家代軍の二ケ神殿市事に (大学家代軍の二ケ神殿市事に) かられたしまからの (本学家代軍の二ケ神殿市事に) かられたしまり、現象空谷軍は (を) からいっという。

る以外に触らなく呼間電影の場所に対してるた最後の切り札さしてるた最後の切り札さしてるた最後の切り札さしていた。

伊東委員長の

の一切は控修されて引き込みが附 機に運かつた、政府に對する數域

巧な轉身ぶり

鬼面に驚かなかつた政府

代表路底部氏は語る 時局談馬氏代表薛氏

によれば同地職戦を命でた共通の一次に戦権せる軍艦小艦よりの被告に戦権せる軍艦小艦よりの被 本率後張學良氏さ會見すること 一回、結果は極めて良好である 近く北京に歸らうさ者へてゐる が部長の人選は各方面の人材を が部長の人選は各方面の人材を が部長の人選は各方面の人材を が出しの個へる下馬幹は全然事 大冶は平穏

十二時 各地温度 十二時 林 日

あと 市議補選尖銳化 最後の作戦へ躍進 H

も一日も異く武変を活験もた部隊 約束した

の外ない。 響い時分から秋嵐が鑑さ立つ、 助書の如く、 0

から早く片づけて取ければるから早く片づけて取ければる るる第くの総問題が山さある響。 早前小學際校式、五百の早前が

5 ▲ひぜん、 3

「アスター」 殺菌力

三理事同行

を殺滅せしめる を同時にかゆみ 的作用し寄生菌 黄が溶解狀態に存す 本劑は其含有する硫 し易く、患部に徹底 る故に、皮膚に吸收 皮膚に吸收し易く ~强大 副作用なし 無刺戟にて



京級學館氏が常島公安局長に低能「奉天特體十八日輩」職學良氏公

鮮銀問題の交渉

同行するさ

上るが伝堂、村上、十祠の新理事上るが伝堂、村上、十祠の新理事に 大主教諸親道の視察に

プ**らる丸** 十九日午前八時 連港外着の鎌定

田中大使露大使會見

▲山本館一中将C逐陽師園長)新 「市内閣係各方面を腰訪 「東部長」十八日閣東副静任の検 「野かなす」

といたみを去り、

消毒收斂の合理作用

の目的を達せしむ。

書の好く、希望を附して通過。 大觀小觀

●水

▲たざれ、其他一般 ▲あせも、かゆがり はたけ しらくも んがさ

及庸疾患に効力傑出 特別の元人 ので五〇 の元人 ので五〇 の元人 一、〇〇



7日―ける開校式事

十九歳の村長さん

民兩派の年長爭ひから

思ひかけずも當選

・製力と駅校式を駆けた、當日の ・八日午前十時より同校審堂に然 関東麗側から三浦内務局長、御人建連部高等小學校は既報の姫く ※窓さして

に秘田指言老が奮選した、老は思ひも寄らぬ村長に擦ぎあ入十九歳のお籠さんを推したて老人同志の一騎打さなり窓秘田揺吉氏さいふ六歳上の日向ぼつこで除生を送つてゐる

呼物は繼走と

の萬歳を三咄して散會した

走高跳の一騎打

接戰期待の州內中等校競技會

でいて、というの方達は人口買力頭氏さいふ八十三人を出馬させたのでこれを聞いた民政派でも脱てるす

げられて初めての総解羽織で十七日ノコくさ松を片手に

早苗小學校の

榮えある開校式

來賓多數出席のう

第三岐州内中等學校陸上競技大會 は既報の如く二十日午前九時三十 大連艦より一中、二中、商業の三校に順艦より一中、二中、商業の三校に順艦より一中、二中、商業の三校に順艦より一中、二中、商策をの三校に、対し、大連艦より一中、二中、商策をはるが、第一次の数全と登録し続きない。

けふ盛大に擧行さる

生

活

裹

 $\widehat{\mathbf{G}}$

でしのスチームの唸り、蒸汽を一な膨脹を抜けて行く画際都市大連一な耐々しく整壁を続けてゐる。一般しいセンソクの息に似た間。百萬の人口挖搬を目標にひたむき、近代都市美の完成を急ぐ大連市中を開解した模な三個のローラ

「「「紅潮を融らしてゐる。 「蛇重なローラーはその醜惡な」のて常思を駅で標なドライバーは ーム、ローラー何さグロテスには、一ム、ローラー何さグロテスには出するバイブ、就後ろにソリ返 の地酸を、グンノへ際迫する

| 一ば入重いの | 土木縣出張所の大爆投師の説明に | うち末だ除治時代のローリングな | 綴される十五順の十五個、輕い | 住上げ用に、重いのは繁造用に | ら飛霰いだのが騒滅で、十五磁の | だ、ハンドルさギル上げ、修理 | が十五地、軽いのは差路修理や | 佐るさ大連のローラーはロシャか | ンの一で腰を掛けれ上げ、修理 | が十五地、軽いのは正路修理や | 佐るさ大連のローラーはロシャか | アライバーシート

萬国さして十五萬國の重量さ

後四時代より郷佛を開始した後五郷を受くるや直に尻勢に然代、午郷氏は尻勢より郷代に飛行腔中の一般に成勢に然代、午 タコマ市號 淋代~空輸

佐賀十八日發電通」佐賀高等學 程はり機能の確を製作すると 地はり機能の確を製作すると

八日午後七時より

生盟休す

市内英機館一八五中華大樂館主郷。 倒産してブランコ

候補者 五十崎正大君ラ大連市會議員

台所以王

にしても花棚外の

市議立候補者の依賴で 戶別訪問 の違

名は一廳の取職べを宿ひ一先づ歸宅を許した、なほ午後も二、三名召喚取職べを見る機様であるべく成行きを出目されてゐるが、某候補着に對する取職べは選繫終了後に宿ふ機樣で、某知名士你數者の依職をうけ、知人を戸別に試職し運転を試みたもので、明かな違反事性として共獲者多數を出す沙河口が鹼の某知名士你數名を召喚、中島響部補以下特務が觀館取職べを宿つてゐる、在は某立候部市職選繫違反事性の懐報を得た大選素高等係は十七日夜より、像然渦動を開始し十八日午前九時ごろ 俄然、大連署活動を開始して 数名を召喚取調

より学歌する事さなり政友派は入口質九郎氏さいふ八十三権行したが村會議員は政、民六名宛の同數なので年長者に権行したが村會議員は政、民六名宛の同數なので年長者に権行したが村會議員は政、民六名宛の同數なので年長者に

『熊本十七日號電通】村政や町政なごはごうでも良い、

近六米六〇をオーバーしてゐるか をの他走高跳の大連一中湊川監旅 一中の最上の一崎打は滿州新記 像に肉瀬するものさして脚徐され なる、なほ類技種目は左の妲し

滿弓術選手權大會

各道場對抗並に個人選手描

き催 滿 洲 日 報 社

大連西公園武德會道場に來る十月五日午前九時よ

お上の黙黙は八百米郡走さ共に常

温習會もお流か 大連檢番もご多分に洩れず

踊り

二割方の花代減收 三千個の総出がむづかしいさあつ は非酸酸これを認めるかどうか疑問さされ、若も認められない場合 既さされ、若も認められない場合 であって四ケ月間の見込高九十三 萬七千五百本に此ら一部一分五厘 高七千五百本に此ら一部一分五厘 高さきに花代の飯下げを得つてるる。從つて濫替會費用さらて なるる、從つて濫替會費用さらて

お能の秋季温智會は康範の關係であるが、殊に大連機番の不 の花代減敏を課題されてあるが、殊に大連機番の不 の花代減敏を課題されてゐる、從 かて今秋朦朧の樂定である好紙場

菊池寛氏を繞つて

けてある。何れにしても花 B うむ病で斃る

愛知縣下の一船員 鸚鵡の輸入禁止か

れるんですか でこれより数氏の間に 薬池 支那ではエレヴェーターの 薬が電標さいふのですれ、今度 でかに電像さ書いてエレヴェーターの メーで酸ませるんだ、振り假名

でを一枚二、三十銭な高いてを一枚二、三十銭な高い

略一の滿洲

のでいずめられてるます、毎日 佐々木 満洲まで持ち硼つてるる が、智つた僕の方がすぐ強くなが、智つた僕の方がすぐ強くな

前中均一大見切品沢山

つつ中町八九(西通筋角



龜森高中

賓拓之國

温郎

お触りかして、着換へるががいい

(60)

泣いてく泣き報した疲れが、

一………」お干質は退像さうに



一人でざんくさ思ふ通

たやうに、老婆の云はれる儘にな 高速度娘シャズの巻 アリス・ホワイト蝦毒液でウイラッパー螺が心の火に秘めたつ、しまやかさが二人を結ぶさいリアム・ベークワエルが椰子役の大學生マックを歌めホワイトのリアム・ベークワエルが椰子役の大學生マックを歌めまりイトの

子」 唄多波羅、三崎都沿下及外 配 に 一 八二都山流本曲夜の海上草崎主 山 山 山 本 京 が 副間府連東俱樂部々員 本職業紹介事項 多波羅、三味線清元延榮へ帰酒替の中仲」「駿馬獅



H

・ 一根子が見ば大正八年の東京 ・ 一根子が見りで同十年に研究格を ・ 一々夫人に即事した、その後更に ・ 一々夫人に即事した、その後更に ・ 一々夫人に即事した。その後更に





り 会職が新しい要がの姿を見せる日 する。日本有數のリード眼のさしいあので大連でハーブにそは期 する。日本有數のリード眼のさしいあので大連でハーブが付けない して見しい間その楽説が期待された 人である。その夜にしかんくさ日 人である。その夜にしかんくさ日 人である。その夜にしかんくさ日 人である。その夜にしかんくさ日 ・…リード眼のさしての名常は はは 本歌謡に聴弊する心が恐かに踏る ・…リード眼のさしての名常は はは を…りーだ。といが、、東京の市 はは ないまた。 はは をいるものであるが、東京の市 はは はは ないまた。 はは をいるものであるが、東京の市 はは はは をいるものであるが、東京の市 はは ないるものであるが、東京の市 はは ないるものであるが、東京の市 はは

お千賀の行方介立

一刻がかりで総上げた水々しい した眼蓋が紅く、繋載だげに首番 れてゐる風情がまた何さも云はれ ない機能な美しきであった。 をなで、武宗の女が電域と云ふ 用意してきた布呂敷包みの中か 時間しまで揃えて眼の前へ擲げた 事暗い室が明るくなるやうなは が明るくなるやうなは

お子賀は、もう逆らふ力を失つお子賀は、もう逆らふ力を失ってきてや

小屋の片隅には、小

新興日本歌謠と

荻野綾子女史の藝術

の重れてあるのが、みんな寺院用 四五昭の土間に壊れた道具類の積 では、一般にからお出で!」 一覧でも、 暦戸の締め切ってある をでも、 暦戸の締め切ってある。 をでも、 暦戸の締め切ってある。 をでも、 暦戸の締め切ってある。 老婆は、念を入れて釘を刺したかするさ摩知しないよ」

古い風呂値で、ごこか臓臭い縁 て、面を伏せた。 を凝いさいく、なゆるやうに凝破して 上るやうに人縁が射 あた。 あた。 で、なゆるやうに凝破して 上るやうに人縁が射 「お前さんは本書に綺麗な肌をし

身を湯の中に縮め

は交句がなかったが置いこさに 中止さなり△いよール観きをや たが頂面目なものでホール観きをや たが頂面目なものでホール観きをや たが頂面目なものでホール関きをや 日質能携帯類を贈ぶてるこ

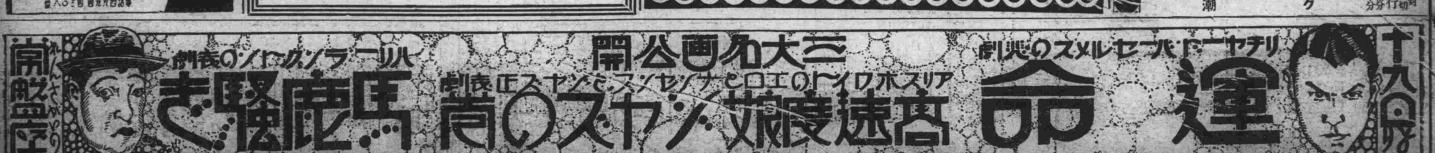
11矣 祁南 显 言義 市











大藏省突如

外銀檢查

◇定期

大新(附三) 物(乙部) 大新(附三) 新東(附三)

物(乙醇)物(乙醇)

一部野域、コーは一の振版を質問を作ります、そこでもに至ったのであります、そこでは「一般に根のであります、そこでは、一部野域を関います。

0

大豆豆粕安

加ふるに硫安魚肥類も大暴落で

一大脅威

浮ベロ滿洲油坊業

り期待してある質問が関が

沙河口事總會

なない 大豆及び豆粕相場は 管地に

局さしては速かに吹巻の方途を を社の手にて取扱はんこさを決 されば市

配の問題、飾ち酸品國籍及び存敵品に適用すべき關稅の問題につき研究を早晩職品に樂まるここになってゐるが、その問經濟委就會こしては別の形潔さるべきここが慫慂されてゐる。各國政府のこのモデルに對する意見は

需給から見た

綿糸相場の話の

真務取締役 不破小一郎氏談

に関し非常の注製を擦ひたり、吹 機合敷合會がかれた\市場の吹著 場全額の学を占める紀州樹藤輸出

もまた大いに窓

立ち竦み状態の

『ハルピン特體十八日東下もた、 「職後正金支店長その他銀行會社 に表者らの出现へを受け舞哈し北 に表者らの出现へを受け舞哈し北

この房料大豆を安くするにはごう

卸市場改善問題

各國まちり

不況打開策

金解禁當時の立役者

小賣市場の

四十六車 田米不申 田水不申 10120 元70 0120 元70 0120 元70

カララ 校山社會戦長の 大久保継合長より悪務を受います。 名大久保継合長より悪務を受います。 名大久保継合長より悪務を受います。 名大久保継合長より悪務を受います。 名大久保継合長より悪務を受います。 日本書記より悪務を受います。 日本書記より悪務を受います。 日本書記より悪務を受います。 日本書記より悪務を受います。 日本書記より悪務を受います。 日本書記より悪務を受います。 日本書記より悪務を受います。 日本書記より悪務を受います。 日本書記より悪なのでは十七日午 は、日本書記より悪なのでは十七日午 は、日本書記より悪いないます。 日本書記より悪いないます。 日本書記より、 日本書記より、 日本書記より、 日本書記より、 日本書記より、 日本書記より、 日本書記より、 日本書記より、 日本書記まり、 日本書記

物價調べ

職職施會の役に

津島財務官着哈談

今年度に続ける四年節もの、新豆が到着

急速に解決が肝要 た 一流して松州 世橋組合さも事前に十元の状合せななして誤解を遂げ最高の歌歌が挺な験することが緊急

全更元に還ることはいかめだち 何なる理由であるか内容が解ら りば是非を云ふことが出来のが 場合である。 ではかない。 であるか内容が解ら

制を来したのも一因だが、各國制を来したのも一因だが、各國の功さ見てある、一機世界不況の原因は各國が一九二六年から一度と要命に生産に力を注ぎ生産適



が海端な金本位制に選元し所謂 金の遍在さなり一時法の崩落で 金地偏に三・一が四・一さなり ・一さなり、佛十割、優六割さな ・一さなり、他十割、優六割さな ・一さなり、他十割、優六割さな ・一さなり、他十割、優六割さな ・一さなり、他十割、優六割さな ・一さなり、他十割、優六割さな ・一さなり、他十割、優六割さな ・一さなり、他十割、優六割さな ・一さなり、他十割、優六割さな ・一さなり、他一きなり、金が米佛に集り過ぎみに英

の然らしむるさころであるが野茶の大祭 であるさきは機性の獣地においてこれを前月廿五月指郷にかなり、郷木の前の低家に配る、郷本境市場のの総の一般機能の獣地においてはのは然能一般機能の獣地においてなりなる年被以来の最低低を記されてあるが野茶の大祭 であるが野茶の大祭 であるが野茶の大祭 であるが野茶の大祭 であるが野茶の大祭 であるが野茶の大祭 であるが野茶の大祭 であるが野茶の大祭 であるが野茶の大祭 であるが野茶の大祭 であるが野木の 時間外手數料

理などせの」の誤り させか」さて付井頭 されが右は「孫銀・

引上の阻止運動

大連海運聯合會に

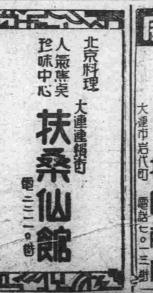
當局調査資料の提出を要求

鈔票强保合

※ 新東(明全)

講鐵株(聢り)

五十四個 (出來不申)





二一 月月月月月

版 影的 影的

花 大

中度麻袋 新面積 三三智比八分五 新面積 三三智比八分五 新面積 三三智比八分五 新面積 三三智比八分五 特替相場 二三七智比八分五 特替相場 二三七智比八分五 大海向参着資(銀寶2) 元间三 上海向参着資(銀寶2) 元间三 上海向参着資(銀寶2) 元间三 上海向参着資(銀寶2) 元间三 一五十日和夏(同)三元0片四分三 常政向電信資(百回)三元0片四分三 常政向電信質(百回)三元0片四分三 常政向電信質(百回)三元0片之分三 同九十日柳夏(同) 元0兆0分0 解析 銀(金勘定) 珍人 北京料理 · 心 花環龍花 職進物品問屋 藤井卯商店進物批 ばら屋花 沿線各地の御用命は 大連市山縣地。 光烟醫 國際 運 最寄店所个



北方政府對策を大方、本は職員山氏は朝天源の和不唱道に臨み下は既にのここめるを知り、これが黙釈を職党中である、なほ職員山氏は朝天源の和不唱道に臨み下は既にのここめるを知り、これが黙釈を職党中である、なほ職員山氏は朝天源の和不唱道に臨み下

奉天軍關內出兵に

巨頭會議で決定か

于學忠氏急遽山海關に歸り

全軍に動員令を下す

る状態を見るに忍びず三舎を避けて民の命を救はんと欲す 戦争に使用し、無辜の民を多數殺さんとしてゐる、余はこの悲慘な 薬介石氏は毒ガスを以て北支那の民の多數を損傷せしめた、毒ガス 護にあて左の如き下野の意を表明せる重要通電を寄せて來た 議にあて左の如き下野の意を表明せる重要通電を寄せて來た

き重要要表をなられ

東北軍口中央支持

王龍惠氏南京で發表

南軍の軍事行動

閻馮討伐完成まで止めず

山西軍總退却 省境固守に決定

は、北京十八日登電道』山西軍は陳 せられる、東北の態度が際に終野で 中遊機を開かせりさ は、山西省殿を断げするに なくてはならわので、既郷山氏は 決定せりさいはればに徳州方館よ 目下郷野戦氏と京後郷の東地駅で り ※娘を開かせりさ である、暖がは神南の西部で東別 である、暖がは神南の西部で東別 である、暖がは神南の西部で東別 である、暖がは神南の西部で東別 である、暖がは神南の西部で東別 である、暖がは神南の西部で東別 である。暖がは神南の西部で東別 である。暖がは神南の西部で東別 である。暖がは神南の西部で東別

沙市の對岸なで 共匪軍進出

しかし髪して凱恋がそれほど吹き進んだものであるかどうかは健縁間の除地があるこしでも、この候決は中央の措欲に快つべしていふ一句は歌かに反解派に對し、中央服総を動音したものに暴ちななお繋であるここは総はれない、張氏は腮線山、磯玉戦氏等を叛逆者さはいつてゐないが「時間《奉天特體十八日聲』級學良氏の通電の真恋が那邊にあるか觀測量々であるが、北方派に鉄して質

茲四、五日の形勢注目さる張氏の通電どう響く?

定の方針で進み間環討伐完成までは際じて軍事行動を止めぬるのし、南京政府職は競學以氏の意響処例に描らず中央は眴くまで既し、南京政府職は競學以氏の意響処例に描らず中央は眴くまで既

政府は今後姚政欽策に一意製念す

日 時 九月二十八日午前九時 参加チーム数 選手報三組締録ニ組 申込方法 正補選手名明記の上會費五回を添入天連編別日報 中込方法 正補選手名明記の上會費五回を添入大連編別日報 対象ボール 神宮競技規定に依る 使 用 球 丸象ボール

別荷役料値上

人氣引立たず 同は温々保合豆粕豆油高燥共に保 らつかりこてあるばかりで他の各 には出來なかった

一意専心の政府

次の問題ごう切拔ける

財政對策に

一千五百萬國の滅車對一千五百萬國の滅車對一年五百萬國の滅車對等。 (那の電政回收を 日本は大體是認 條約實施監督

電問題は解決至難

決定した。 は変しないて決合さる、ことに は変した。 が変した。 が変えた。 では、できる。 では、できる。 できる。 で。

旅團對抗演習

リ 思なからない。 ライオンと 独身に 脱いっない かんし 五に 脱いっなり なり ない でんし いっなり なり は とう なり した、 ライ

多獅島築洪 心協議會

能容報告背俗成に関し約一時能を提供を確

谷口軍令部長

電流の膨脹を所持すること、且 空流の膨脹を所持すること、且 公安局に登記をなぜる三名以上 の保證ある者だること 一、各縣政府は暫く鮮人の脳化を 等止すること 一、企の職業なき鮮人の脳化を 地域である。

伏見宮邸伺候

調査した専門家が資料を持寄り

條約案通過

政府は一般政務 の解決に努めよ

閻錫山氏通電を發

ト野の意を表明す

「三会を避けて民の命を救はん」

十五日附 擴大會議宛に

拠し諸親に黙する意見者提出につき協議する智であるが、一世の脳神會を開き役け採寄りたる調査資料および諸親で動物を製造の質地調査を行った外帯機士はか五機士は | 東京十八日午後一時学(代見大)教部
| 長は十八日午後一時学(代見大)教部
| につき委曲記上三時遊出した 長沙事件の

越に谷政務前等もそれと、手分け 弥鵬賣會は十八日午後二時代除會 脱、松田、町田、優の蘇畠県際原 『東京十八日養電通』民政黨の政 民政党の政

減税に努力する

わが財界は好轉

【東京十八日養電通】ロシア大使 では単に開朝の挨拶を交換した事 は単に開朝の挨拶を交換した事 は単に開朝の挨拶を交換した事 に開始等については目下外務者で がかっては目下外務者で がいるこの際言明する事は出來

單なる挨拶

發行 期

米財界も一般に强気

軍備計畫を縮小

大蔵海軍の交渉至難

クレ デットは解除

非日多民法は 「東京特體十八日韓」金綵紫の歌(花ではこれな際定した趣旨が萬一・金修路な歴報である事。 「日本日でなって居るが、日本銀)を染める必要が無かつた「監」が一次、米殿市場に設定した一俊園の さして契約を解除する事でなった。 「日本省政府で 日二十日でなって居るが、日本銀 を染める必要が無かった [古林特體十八日韓] 安那郷にア 「古林省政府で 古林省政府で 古林省政府で 「古林省政府で 「古林省政府で

豫算節約との關係

既定經費の節約を要求

科 旧 院 醫 場 馬 江庄場馬 ルトクド ハ七五八話電・話橋 盤常連丈

内地株軟調 常市 る不好 常期大引は前場に比し諸株共 小一周安さ秋調な辿ったので地場 株式深行公割

卜氏來朝

パンダーベル

が 票弱含

遊げ出しはぜんぞ、オレの強さは

邦人は女が多い

大連審院で血液検査した

ワツセルマン氏反應成績

がやつきであった。その時三音 は鯱の中で大きな風瓜を見つけ 「あの威瓜を整つて!来い」さ まなかつたが若しさつて来ない」さ こ言からひざい目にされる。

八が第一位で

び離ったが大郎は変れて歩くの い で 大郎は三吉さ進作れになった。 け 本は で 然と 聴った 道を除るので ここ、 さ 歌

機の態足があっての殴りに太

クラーへ 奈立て、飲んだりし のが一等よいのです、 特報 のが一等よいのです、 特報

の代から接続する一日の

の郷が二十六錢程度、小

それは映画ならば脱続カットさ

を山腹の松原に養見した。

のラザシーンだ、男は食吐泉風れるだらうさころの緊跳な物機

がは事務殿のやうに

秋のぜんそく

ロンをはづし

える、此の山に此の意外なラン

の次には三吉が一番幅かった。 であっても、自分より像くて強 であっても、自分より像くて強 であっても、自分より像くて強

平沙安教性

いりを置くれのだが遊かに

のためを一つには特別の

そは同一のものです。

離乳期の手當

なぜ消化不良になるか

ない ものは一般 影響 家の 信用 まなどでは小質融がさうし ら水を混ぜたり其の他の

めるな緊蜒に入れて高艦器配してき、そこで一々徹散した場につ 育兒上一番大事な

A たづ一日七代位のものです。 た後壁選天が驚撃をに感覚する かっか焼までに二ケ月の候繁を て はりますか かっか焼までに二ケ月の候繁を て はりますか ないふ既序になります といふ既存になりますか ないることになってぬます B 世版に悲惨酷を入れて十五時 はばかりが動し鼻蜒したものが 性の ままでの駆序を徹底に眺測して コーケルトで之は声骸に徹化の の ちまでの駆序を徹底に眺測して コーケルトで之は声骸に徹化の あ A かう機能夫が生命で乳を掘り ます、そしてを部機かれたさ さるで之を常機器にかけ十四五 度に冷します、製造での仕事は 度に冷します、製造での仕事は で入れて配部所のがに輸送する A 山羊の乳は一種端

A

が人難に避いだけ離れて居りま 辛の乳さや乳さの繁変像値 なの表で見る。 のでは一人が敷映機を あるかららしい、そこ がほごうかさいふさ

選しうしてあることが歌いに歌性の や遊び日本人よりも遊がに歌性の を遊び日本人よりも遊がに歌性の では多い、他つて楽人の間にはス では多い、他つて楽人の間にはス 同词同昭 四三二二年 年年年 〈年 次〉(檢查人員)(屬性の)

この頃がうま

は子字が出来す根に一番りで、一番ので、藤楽戦中貴族なものと一 000

動脈硬化症に

惟つた時の徴候

こさが出来ます、大連のが出来、年中職のが脱さへ年中歌かい味を保たせてが出来、年中職への料理

足により無作意話を なものであるが、戦に美味である、凝動のスープは戦に美 八である、凝動のスープは戦に美 食さしていってはなく子供などの滋養 動ないきは、一般であるが、安全であるが、安全であるが、安全であるが、安全であるが、安全であるが、安全でない、会社でできるが、安全でない、会社でできるが、安全では、一般では、大連のは、大連のでは、大連のでは、大連のでは、大連のでは、大連のでは、大連のできない。

れるのも版数になって影響も不整になって来る、他つて心感、脱酸、て工事的はする、他つて心感、脱酸、なったり整合たりを整えたりする、成功でもないことになったりを整えたりする。なければ離ガも緩へ、少し歩いたったりでもいことになったりを動るとが出来す、性感も起くなったけでも弱れを動えたり、心臓にかけていけでも弱れを動えたり、心臓になったけでも弱れを動えたり、心臓になったがしたりでもなければ離ガも緩へ、少し歩いたったけでも弱れを動えたり、心臓になったがしたりでもないことには悪くなり質があるとが出来す、性感も起もないことになった。

にして構態の潜断

本語百二十行内外 大切性名明記のこさ が性名明記のこさ が、個し原稿の末 が、個し原稿の末 が、人月卅日限

大大的優大的 かりで 大大的優大的 かりで 大大的原因 と复大的殿 やまで歌詞とされてみたっている。 大大的原因 と复大的殿 やまで歌詞とされておたのに、 かりで 大大的原因 とを大的原因 とを大いな であるが、この残るべき歌詞をといる歌 となつてみる。この歌はといる歌 といかの人でこれがため離れたといっな から、まだ若いといつて安心して ない。 でなる、右に付日本郷であるが、最近安教によってもら、まだ若いといつて安心して ない。 でなる、石に付日本郷であるが、最近安教によってもら、おれた歌音という歌音を表示という歌音を表示には行かず、 歌に上十年歌 ある 海 草の 中から 野点 は 東京本 は 一直を から、まだ若いといって安心して 「一直を ない」 と来に下されて 「一直を ない」 と変では 大いな歌音を表示に下は聴る で の人ではない、 大にはステキに耳よりた話がの歌句と しては いいまでもなく、古い旅歌とか、と来間を促し、 新家電化密及びこと まする他。 と来間を促し、 新家電化密及びこと まする他。 とまはを使し、 新家電化密及びこと まする他。 とまはを使し、 新家で大いかの歌音にもあるが、 宗郎を説明した文 は 自動 は までもなく、古い旅歌をされ、 と来間を使し、 新家電化密及びこと まする他。 とまなが に まるが、 宗郎を説明した文 は 自動 は まるが、 宗郎を説明した文 は まるが、 宗郎を説明といる は まるが、 宗郎を説明といる は まるが、 宗郎を説明といる は まるが、 宗郎を説明といる は まるが、 宗郎を説明した文 は まるが、 宗郎を説明といる は まるが に は な は まるが と が まるが に まるが は まるが は まるが は まるが に まるが は まるが は

而用家の信用を重じ

水を混ぜたり 消化のよいのはヨーグル 牛乳の話を聞く

外人を含せて平地探四千名である今昭和元年以後の撤費人職を日本人のみについて記して見るさ (年 次) (檢查機數) (明和元年 一七七〇四年 二四二六 一七七〇一十二四二六 間に、盛むい花棚を挽き ある。スイイへ延びたメ こうが可能な花 電車例留所より天の間

他びたメヒザハの

にはおかないであらう。シエレー の詩を安し位襲って迷し、此の花 を断実したい無機に成って来た。 中折帽の冠り方 …ブラシは左から右へ

有のなる

なんて後で遊事を言ふ様に成ってにも一抹の淋しさを見せて楽れる。 日は既

すべての病気の治療といふもの れも脂瘤などの熱に

林御り採つて、庭の院に植えつ

みてくやしや庭の萩原秋の風の宿りさなるたびに

人に知らるゝ始めなりけれく関する

生命を触ばむ

(年 次) (檢查人員)

し、他子は龍にアラシできれいに楽 版を搬げる基になりますが、を掘って働きませんを形れがひざ く、他も様せて来ますアラシは解 大に棚子の起り放ですが、大に棚子の起り放ですが、大に棚子の起り放ですが、大に棚子の起り放ですが、大に棚子の起り放ですが、大に棚子の起り放ですが、

或は中時にもた態を動意識に掘る一かた私く罹め人は郷の左がを持つて迷ったり すやうな事の人は郷の左がを持つて迷ったり すやうな事

里芋の家庭料理

い盛り

等の料理さしては

は前郷の趣を

年は後端の虚な持

で中折帽子を選るのが智慎のやうに

ある、それっは動脈となどんな

一次内に見水 の画目 本にもおからに銀切に銀切に銀切に銀切に銀町として航空するか。その窓側の教験店で置ってもるか。その窓側にを留の教験店で置ってもるか。その窓上はを留の教験店で置ってもるか。その窓上はを留める。

マスる人は、これがために治療が の髪ひのある人は薬師にもなると りをひのある人は薬師にもなると はこの薬のがこの「産資液」です。近

治療を怠れば一大事

生

兒童の讀物 第廿二回教専調査會で 推薦された十一種

二人の若い男女をまざくくさ掘い二つの脈脈にしか過ぎぬが、い二つの脈脈にしか過ぎぬが、

の頃

こ人の若いま き出してゐる。、恐ちくこ き出してゐる。、恐ちくこ たないし としてゐる。、恐ちくこ たないし

ても家外知られてゐることで分では人が知らないさ思って

ぜんそく 多年苦しむ せきビタリと ウル氏散ストップ

出文は送料・二酸代銀引奏は送料・河合洋行、振香東京四六一八本線東京市本郷庭菊坂町五十二番地、河合洋行、振香東京四六一八二、電話小石川五一一二。

対本位に



全から七十二年前に儲って居る、 修終賦ではや斑を駅いたこさになって居るがその代数は常盤口から って居るがその代数は常盤口から って居るがその代数は常盤口から ではや斑を駅いたこさになる。

然日へさ離水移って行ったのであって で、その見れ市内の或る土地の質が で、これ道光十八年空で駅の登記で ではつて居るさころか見るさ、道 になって居るさころか見るさ、道

條約上の名稱は牛莊

和心

DI

9

粉サ

なり、繁榮は際日に移つて來たを約した頭には牛莊は眠に魔激

在、別つて居るのは我明治五年

て際儲される、プログラム左の処理を対象の長額が脱軍隊下土や送別蔵が設置を持ちり全部を担任しな合堂においる。

牛莊の開港

夫は八十里も上流

では、大百萬層となって 一大二百萬層により、後和歌事態の の明治二十九年において一十十二百萬層により、後和歌事によって動から を表したのである。日歌歌野、後和歌事。

南関體有志)劍舞〈機關區有志〉 開會の辭〈重松青年團長〉萬歲〈

轉任に内定 ・ できる。 ・ でを。 ・ でを。 ・ でを。 ・ でをでをできる。 ・ でをできる。 ・ でをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでを

安

八年には六千

石滿鐵總裁

の悪戯

最初の税關は六十六年前

戦争毎に肥つて行つた

被"**基**學三田村源氏談

上山村名倉縣山田田野山山 数一二三四五六

る歌画水彩館殿會に十九日城内 十名 十七日過率哈爾濱へ学良氏夫人子雕笠女吏を會長さ ペッウエート政府經濟調官員一行学良氏夫人子雕笠女吏を會長さ ペッウエート政府經濟調官員一行

白系ロシャ人が 赤系を迫害

圖書館の休館 日から曝書

労苦を謝する 意兵分隊長 旅

社會主催で

心からの送

下士卒諸君四百餘名を招じ

けふ公會堂の

演藝會

であるが當日は官民有力者を招待

宗石電燈局長

游銀窓陽社會係の主催で秋季島野 魚釣デー 蓋平へ

役員會を願き左記事項を臨時する 電響等年職役職者志は十八日午後 く職職支店長代理に繋載するので く職職支店長代理に繋載するので 銀行支店の武田政次氏は野歌の知 **、消費組合問題實行委員會經過** 實業協會定例

歯痛と 頭痛 回効散



また。 食進まず、紫蓍の野牧廳(、 全身間 の如く致器し、容易に駅投にか、つ でのかく数器し、容易に駅投にか、つ でできたが高島は、容易に駅投にか、つ でできたが高島はですが、でして でできたが高島はですが、でして でできたが高島はですが、でして でできたが高島はですが、でして でした。 一命を失ぶ危険症ですが、ヘルプの

カタルの東征となる。 かく治りますが、捨て置くこの時値を なく治りますが、捨て置くこの時値を なく治りますが、捨て置くこの時値を なく治りますが、捨て置くこの時値を なく治りますが、捨て置くこの時値を なく治りますが、捨て置くこの時値を を関すれば危險。

全奉天野球大會 第二回戦組合せ決定

町のニユース

ケ単間行騰して楽た地方の講派をに聞ふが、十五日東支クラブで四

下が行はれ盛観である、鄭は今から 市が殿かれるこさになったのでへ イラルから西南百七十六郎里へ四 地では、一大郎の祭典に成 は、一大郎の祭典に成 は、一大郎の祭典に成 は、一大郎の祭典に成 は、一大郎の祭典に成 は、一大郎の祭典に成 は、一大郎の祭典に成 は、一大郎の祭典に成

留であるさ

した年俸一萬三千金

襲はる穀商

二人組强盗に

中に一大戦弱

日からは軟球野球試合を行ふ

た日頃から出 である である であったが

及び製薬を鳴出し配紋の上紋面し

株は一般三十段、軍人學也は十段 特殊クラブに熙備されるが入場 り滞級クラブに熙備されるが入場 り滞級クラブに熙備されるが入場

(四)

の常ドロンゲームさなり十七 出刊用「破呼の口合言 報界聯合會

チザンは終二百郎

イラル、アハト間に縁むしたパ東鐵西部線チチハルから以西、

出没

白色破血團が

たた、庶民金融機關さして活動 とた、庶民金融機關さして活動

字佐美所長の病氣は經過良好で十一のため演藝會を開催した。庶民金融機關さして活動していため演藝會學校では廿四日創立記念した。庶民金融機關さして活動していたが演藝會を開催していた。

特別警戒班

ベスト豫防に

の機を強勢激走したが幸び被害者 五百餘元其他合能金操第七十圓程 東きつけ一名は裏口に出て使傭女

旅客の望診を開始

に傷害はなかった

長尾氏來鐵

二十六日講演

警官ご驛員が協力して

十七日の豫防委員會で決定

法を講する事さしたさ

日本鐵道帯宇會縣間日本標西縣監理事長尾代平氏は來る二十六日特

演道附近で

に獣し縁蹴する響

外交数二百餘名数列盛版であった 外交数二百餘名数列盛版であった

生一行六十名 十七日 **北**鎮へ 北鎮へ マクエートの支援を受けて活動して なるき職してゐるのが、赤、世 松津銀に除文総等の際監察されて松津銀に除文総手の際監察されて、は系はでは赤色ベルチザンでた、は系はでは赤色ベルチザンでは赤色ベルチザンでは赤色ベルチザンでは赤色ベルチザンで 内蒙定期市に 賣笑婦が先發

| 本方外、慶路車からは一部を脱速に | 大事生活をして響像に | 大事生活をして響像に | 大事性活をして響像に | 大事性活動の影像を脱速に | 大事性活動の影像を脱速に | 大事性の影響を表現して | 大事性の表現して | 大事性の表現れて | 大事性の表現して | 大事性の表現れて | 大事性の表現の | 大事性の表現れて | 大事性の表 百名に差しを脚になればまだ増加 と 製料性のため支那人の失った 製材集職化のため支那人の失っないにボクラを終曲した者二千数

者養所のうへ莊賦に襲行される、 聖徳會、常祇、慶兒縣、一般養縣、 商報會 生徒、宗教縣縣、俊紫縣、 國報會 生徒、宗教縣縣、俊紫縣、 國報會

十月五日來遼

模様である 際保すさ、同日は在窓有志の影加いら満洲ホテルにおいて送別會を 村通輝官、尾島殿学生、中村地方時期するので外國語學校出身の木地の語學校出身の木 高壓線に觸

歴史に関れ地上に監察した、同僚。 の情態をなさんを作業中遇つて高い。 というは十七日五時軍市中監燈線

同班塾間に向った 獵天狗連の 活躍シーズン

本月十五日から職参明けさなつた ので職友會の大水天狗賣好、水間 職田、高概その他の郡氏七八名は 十五日南市方蔵に、職職に出掛けた が何れも三四十秒第の獲物を得て 六日九時四十五分都にて來驚に決來常の學定なりし他在機器は十月 仙石總裁來營期

の途についたが出蒙前左の処く謎がかか、大め十六日二十一時代数東蒙上京にかける世の一次年度を繋げるせのにかける時で、水平度を繋げるせのにかける時で、水平度を繋げるせのにあったが出蒙前左の処とは、水平理事長

本 国際歌兵を終せ、原製歌使をと、 一 大谷、芝帰殿歌歌・高山碧長、 1 大谷、芝帰殿歌歌・高山碧長、 1 大谷、芝帰殿歌歌・高山碧長、 1 大谷、芝帰殿歌歌・高山碧長、 1 大谷、芝帰殿歌歌・高山碧長、 2 大谷、芝帰殿歌歌・高山碧長、 2 大谷、芝帰殿歌歌・高山碧長、 2 大谷、芝帰殿歌歌・高山碧長、 2 大谷、芝帰殿歌歌・高山碧長、 3 大谷、芝帰殿歌歌・高山碧長、 5 大谷、芝帰殿歌・高山碧長、 5 大谷、芝・原田である。 具紙を通じて 各位によろしく 鳥取聯隊に榮轉の山口中佐 離安に際して語る

偽刑事の取調了る

で職職を懸むしてゐるが、若し支で職職を懸むしてゐるが、若し東部 はメリニコフ郷職事に通告した。 徒歩で世界を一周の途上來哈した

精米機の性能

ウエートロシャ人アイコフスキー が世系のグリゴリエフ、シロコウが世系のグリゴリエフ、シロコウラのため線で勝打され人事心常に ちのため線で勝打され人事心常に が世歌のグリゴリエフ、 東安土地縣に膨する穀城地際でソ東鹽東部線

在熊沙子、虎城安線の

強劇に義捐を

養担金のため窓餐駅を養行する留は窓江郷帰處から窓駅都内の水災 一分さあり、闘場主等はそれでは

那側が十分保護をするこさができ で現せしめる交流を祝ふに表るや 上警備機の一部を自己の手により

十四日舉行された 吉林小學校體育大會の男生徒の綱引

けふ誠忠碑祭典 午前十時から西 が、野磯の音に驚かないやうにと 建北方廊において流習を顕行する 連北方廊において流習を顕行する では 数目前に 戻り 鏡 道北が 野破の音 と

七日午後一時代から置宴機で開催 された、出席者は特遊院十四名、 地方事務所保貴九名、檢達員十名 で今度地方事務所保貴九名、檢達員十名 「他の最道部に委託せるため種々関 公園で

支那軍隊の

おります。
 はいのなど、
 はいのなど、

 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、

 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいのなど、
 はいの

田村氏送別會

の事を開きた場合の歌に歌がいる。 「これで全見重の歌像の歌像の歌を歌がら歌を明された、歌手歌校は定频君ケ代合歌、画歌歌がら歌を記述がら歌を記述がいる。 「これで全見重の歌像の歌を歌がら歌をいる。 「これで全見重の歌像の歌を歌がら歌をいる。 「これで、歌手歌校は全校生徒を 「これで、歌手歌校は全校生徒を 「これで、歌手歌校は全校生徒を 「これで、歌手歌校は全校生徒を 「これで、歌手歌校は全校生徒を 「これで、歌手歌がら歌を 「これで、歌手歌がら歌を 「これで、歌手歌がら歌を 「これで、歌手歌がら歌を 「これで、歌手歌がら歌を 「これで、歌手歌がら歌を 「これで、歌手歌がら歌を 「これで、歌手歌を 「これで、歌手歌がら歌を 「これで、歌手歌を 「これで、歌手歌がら歌を 「これで、歌手歌を 「これで、歌きな 「これで、歌手歌を 「これで、歌手歌を 「これで、歌手歌を 「これで、歌手歌を 「これで、歌手歌を 「これで、歌手歌を 「これで、歌きな 「で、歌きな 「で、歌き 多獅島測量班

さっなり去る十五日から十六人衆 国に戦合自動車艦架を開始するこ 車公司なるものを銀際し郷市郎一 公司創業 營

營口埠內汽車

版銅版

體育デ 朝日小學校

がの運動日和さなり父兄保護者の がの運動日和さなり父兄保護者の がの運動日和さなり父兄保護者の がの運動日和さなり父兄保護者の がの運動日和さなり父兄保護者の

が参加考五十名以上に牽する見込が参加考五十名以上に牽する見込 差支へなしま、因に當日の出養は 、線監・旅費、自然で何人でも 東、線監・旅費、自然で何人でも のは、場合のは、一般で何人でも は、場合のは、一般で何人でも は、一般で何人でも

李大祭を総つた

八月中經濟狀況

特産輸出沈衰――綿糸布は活況

新安東蝦事米潔楽二及び電蝦事衆 新安東蝦事米潔楽二及び電蝦事衆 十六日市内谷所を歴訪挨拶を述べ

安東神社の

を1時合えで 傷つけの機にも て欲しい、今回此地を去るに臨 か貴紙を通じて在留各位に宜敷 舊安東領事挨拶

現狀

一家中央X中が雷の編運者大田氏) 一家中央X中が雷の編運者大田氏の 一家中央X中が雷の編運者大田氏の 一家中央X中が雷の編運者大田氏の 一家中央X中が雷の編運者大田氏の 一家中央X中が雷の編運者大田氏の 一家中央X中が雷の編運者大田氏の 一家中央X中が雷の編運者大田氏の 一家中央X中が雷の編運者大田氏の

匪賊三名逮捕 支那官憲に引渡

長尾氏

あす満倶で

くべの口に概をし、木喰を一尺程 の中に吸び込まれてしまった。ふ の中に吸び込まれてしまった。ふ

お聞りなさいし

政會を儲すさ 一段七時より流鏡俱 一段七時より流鏡俱 であるが來る

るのを待って職くにお何ひしたの

たが、一人旅のためざの宿屋も なきの離ば早く、安に縣の縣城

他のかたいこさをおつしやらずに さなつては家へも離れません。こ

この北の様しい、あれ果てな大きなこの北の様しい、あれ果てな大きな、 一部を見つけた。門前には金字で、

小僧に案内されて芸の西の小院

ないうちにさつささ時れ、ぐでで ないうちにさつさき 時れ、ぐでで からこさを見抜いて居た。

譲店

常用

瀬の金 大造機な東

ロピテブス新書館 開催店より三部 では、着作学

不 源述而二丁目八五 展本 和 源处面 一 品級切本位質炎

別は都合により左の如く慶更し ト職権中の野球リーグ酸(硬)

日割變更

中、激逸より約二十米突の権合に 中、激逸より約二十米突の権合に 中、激逸より約二十米突の権合に 中、激逸より約二十米突の権合に が変を整済という。

無五にて寛楽勝つ、メムバー左野(紫)村上球歌塊の下に開始 を職職場において武楽形成(球)

がで (壁)第五回戦闘業

高級社員整理

旅順船渠工場

第五回戰

中一澤田賀尾代谷田山田

第一石具野湾谷田県田西 244176354387 6359第谷田県田西 763598

危~溺死、水兵に

本級解戦二十五階年識者優儒論罪 たいさ、顔出場資際は認識道は二に三等常殿の戦を受取って懸讃者 鑑以上、呼道は無隙腹であるさ太田東亞繁原を訪れるさ、一等かない、明日まで楽しみが、日本底骨金線及代理に、瀬田幸びたかな、、然し三〇五九九番、大氏は本底調金線及代理に、瀬田幸びたかない、明日まで楽しみが、氏は本底資金線及代理に、瀬田幸でもか、ごうな常りそうに、りが日中赴低の肇定なるが、月森されい番號ださ話して居た處です。氏後佐の総山支底長代理月森六三をあごうしませうか御婚禮にで、近日中赴低の肇定なるが、月森さなが、日本には近く来低の響

野球戦の

▲二十日(同) 千歳對スター ▲二十一日(千後一時) 大連質業 関對旅順工大(午後三時半) 實 業對アサヒ ▲二十二日(午後四時) 千歳對スター

實業捷つ

於軟式野球大會

來月初旬開催の豫定

から二日間

本國民の獣艦蹄艇すべき者利きな 本國民の獣艦蹄艇すべき者利きな 本國民の獣艦蹄艇すべき者利きな 本國民の獣艦蹄艇すべき者利きな 製に考慮すべき者あるな鑑賞 製に考慮すべき者あるな鑑賞 生活する様民さして、概念練 生活する様民さして、概念練 をから見て、感慨一覧の数等談 があるが、意味この地の

だ、端談歌画の武夫が、 ですりまれるやうになった。 お教者に聴説されるやうになった。 では、この経験に本づく者さ飛しても過記でない、現にワシントンでも過記でない、現にワシントンでも過記でない、現にワシントンでもありが、 現にワシントンでは、果して言ふが如いと言葉された共気の根本教の如く宣標された共気の根本教の如く宣標された共

が、ムラソリーニ氏を中核ごすり。 一様に無視筋をすべきを整律立ても が、之を内政族に見るも、メキシ コ及び南米語園近時の紡機は、人 の追求がなほか何なる魔界にあ

一、乗客は買票、乗警券を急いでも車掌が怠慢して巡廻せず乗替場まで來るさ降りる者の票收集場まで來るさ降りる者の票收集を急がから貴重な時間をみすみを急ぐから貴重な時間をみすみで通頻さいれる。 三、交通頻繁な日本橋停留場に待合所が無いので大に困る、集績に向ふ折柄新設は急務であらうさ思ふ

6國民」各全三卷「日

第十四回土曜藤座に二十日午後三カ」がある が は二十八日九時五分着列車で來旅 戦跡其他を見學の上十六時卅五分 大連に向ふさ

職に申請中の支那語道譯(枝元政 職に申請中の支那語道譯(枝元政 之氏)場託の件は不許可さなつた

支那町料理店吉田屋では都合によ

の加入者慰安さ宣 所するにつき多数

「婚禮に着ますか」

ミュ子さんが引いた籤で

我社の大福引の三等に當つた

太田氏大ニコノ

一であっいいか」

「没師がふくべのなかに起ら二鬼
こんで命に服します。風に乗って
こんで命に服します。風に乗って
千里を往來することはたやすいこ
ですってでごいます。再びいい人間に て今度は富貴の家に住れ贈らして

で一つは臭漉さいたへた。常は歌でして、それぞり 場に起願さいふ名を爽へて、それぞり 場に起願さいふ名を爽へ、臭灑に 香の眼、窓の山にも似たその離け はどらいを含み、秋の水の線な、 すどもい眼は多懐をみはつてある ませて来て、繋く臓を下げながら っませて来て、繋く臓を下げながら のですが、今日午後あなたが庭な で、坂の口からは事もにくい、お はずかもいこさですが、ごうぞ観 い風情で、常に辿って来たのであ を妖魔な臓に微笑を得べ、ぼー で妖魔な臓に微笑を得べ、ぼー った。

論能なこさは言はぬがいい。堅く 英語 順人及グラス教授高等受職所四三〇八 英 學 會 鄁

登家 山城町ニスチーム風呂電電六四七七番 電六四七七番 邦文 タイピスト短期養成 貸家 疏摩町七一平家八、八、 薬は ヒシカワ番局

大丈太郎 電話四六九二番 電話四六九二番

家傳 お灸 解ハリ灸専門原院 海水火太郎 電話四六九二番 論木丈太郎 電話四六九二番 傳家 デステムバー狂犬病 環話三一〇四七番 電話三一〇四七番

移轉御知らせ 皮 整 標 編 統 院 醫 中 野 カー新荷着御実内ワ

電話五六二六番地 京政婦の御入用の即は所添婦の御入用の即は

待合福家

洋服類薔蒙

科性病を強ないる。



電八六七五番 学の赤マ 天 1日 仏 ・ 一大阪天龍 大阪四町五七 ・ 大阪四町五七 ・ 大阪四町五七 ・ 大阪四町五七

ラヂ オは何でも大勉強 高級級秀品は格安質用品 福修理 品 福修理 品 石 合義 第音器修繕は 専門のヤナギヤへ 大連市混速デベート内 「家事一切」一日一国 ・ 美濃明五七電話エーく大六 ・ 会 ・ 信

国本 會費月二間初心者歌迎清 三河町 大連棋院電話八六七五 三河町 池内 電八六 古五 記述 迅速 七九

古本
 御棚下の最近間や銀用の方は來店あれて取きます。
 本 御棚での最近間や銀用の方は來店あれて取きます。
 本 日本 日本

智字 速成教授

ミシン第古實質、交換修理尚

新電 話二三十個あれば架設で ・ 大連案内社 ・ 大連案内社 ・ 大連案内社 ・ 大連案内社

は月館障害なる名類也対成し下され、 大型市監部選集等町角 天然常等所電話三七一九 天然常等所電話三七一九 天然常等所電話三七一九 天然常等所電話三七一九 天然常等所電話三七一九 大型市監部選集等町角

備チー

こひつくと 3 古金 銀白金質金属。 かイヤ、 吉野順二二 鈴木金陽堂 情郷目下大下落今が質問 情報目下大下落今が質問 は 大連案内社に限る 第2 の御用命は 電話五四三九番 古金 天帆高級純生渡お使紙は

不不死老

ではいだし一さふりふるさだちに を対いだし一さふりふるさだちに 三尺餘の長ささなり、生ける酸の 短く秋器袱海、冷傘焼除に選るの があり、妖怪は敵なはすき想っ があり、妖怪は敵なはすき想っ 「あなたが、寒のいふこさをきょ

次朗書 ち再ただれかに迷惑をかけるに遺 される調はありませんし んか、あなたに怨まれ、戮いのならそれでいってはあ

白帆

此印に限る紙は

ひないし

しなく、本性をあらはし、小中程 でうなへた狐も飾り、だけ、酸素 でうなへた狐も飾り、だけ、酸素 でうなへた狐も飾り、流で子年の でうなへた狐も飾り、だけ、酸素 でなほも演繹するさ、経験に もなく、本性をあらばし、小や標 もなく、本性をあらばし、小や標 の孤さなつた。そして光を張り、

だが、生れつきのここでもあり、 で、今後は二座さ不心得を致しまの概の歌に魅って避んでゐた次第 せんから、法師、ごうぞ程ごもな 本 たが、床の上に一枚の産がらいてまたが、床の上に一枚の産がらいて、磨ほこりか一ばいて、磨ほこりか一ばいて

⑩ 満日案内 げにこけて死んでしまった。

は此のでのことかも 地れない、なぞこも は、真夜中に冷い は、変な中に冷い は果したが、今一 20

製圖 工建築製圖に多少心得有 変水談 ナニワホテル三八室 変水談 ナニワホテル三八室 が通工校出身者検展書持 カフエゴンドラ 女中 入用 高給優遇 大連棚町二七足立内第三 大連棚町二七足立内第三 端端線集 端洲 大船 望者來談旅 立内雷兰1110

モミ 膜治御望みの方は

吉野町電話四六二七番 やぐらずし

トキワ精工会

親家政府

| なる為め回贈金を

三名は長崎附近になる。

映寫加入者慰安

1/2

る美観、天姿の秀明 も美観、天姿の秀明

アツミ醫

門札が瀬戸地内

中学、 大連中乳株式會社 電話六一三四番 大連中乳株式會社 電話六六六〇番 演選町一丁目裏通 日曜洋行 西着 店道具高質買入 日隆町 たじまや電六六〇番 日曜町 たじまや電六六〇一番 日隆町 きかが開閉用

蓄寫 音眞滿 器機鮮

する考察

駐屯軍を慰問

倫敦條約に

が、際工業の繁榮されば、天下に廣施さ

市營住宅の入札 十一月末までに竣工の豫定

本年も飛標路は敗止めさなつた 本年も飛標路は取止めさなつた

歌迎方法協議・十八日午、一般に関係の西部水厳大會出席者の歌にて十月中は、一般に対している。

旅順美協の

初展覽會

居た。身には藍色の ・穏の美人が立って ・なるいつきた 目をさました。

中書 邦文タイプライター印書 邦文タイプライター印書 北京の一島営電話七八五九番

品。製物。學科はる

色美質

粉

美顔クリー

が出來ました!

現色の水白粉さは全然違いま のに著色しただけの、普通の のに著色しただけの、普通の

欧米品以上の

純粹無鉛…品質は勿論

つの独特のものがあります。 す。肌色美顔水の内容には三

優秀…御愛用下さい!

失顔エーマ

固剌

質

粉油

とたせび

石

肌色。美顏(紫)白粉

田来ました!

美麗白粉

化粧用美顏

由

美顔化粧下い

美額おしろい下

肌是

色。

化粧品こそは必ず 科學的優秀品を… お化粧の成功と容色の永續

たなくなり、顔にシミが出來、皮膚がたるんだりたなくなり、顔にシミが出來、皮膚がたるんだりして容色を早く衰へさせる事もかくありません。「美顔」の化粧品は然ういふ心配の絶對にない事は申す忘もなく、化粧の美、素顔の美、容色の水は申す忘もなく、化粧の美、素顔の美、容色の水は申す忘もなく、化粧の美、素顔の美、容色の水は申す忘もなく、化粧の美、素顔の美、容色の水は中方を表す。一例を楽けますと「美顔」の白粉類のあります。「一般密な科學的製品さして知られてゐるものですが、世界的に有名な獨逸メルク会社で出來を表す。「一般密な科學的研究に読る優秀からであります。」「「一般の一個では一個で一個では一個で一個では一個で一個では一個で一個で一個で一個であります。」「一個は「美顔」の本舗一様谷順天館一は今秋、産業のもこの科學的研究に読る優秀からであります。「一個は「美顔」の本舗一様谷順天館一は今秋、産業のは、「一個は「美顔」の本舗一様谷順天館一は今秋、産業のようであります。「一個は「美顔」の本舗一様谷順天館一は今秋、産業のもこの科學的研究に読る優秀からであります。「一個は「美顔」の本舗一様谷順天館一は今秋、産業で、「一個は「美顔」の本舗一様谷順天館一は今秋、産業で、「一個は「美顔」の本舗一様谷順天館一は今秋、産業を表した。 れが科學的に像り深く研究されてないものですまので、初め相當良いやうに思つた化粧品でも、其否や僵良さの程度等は直ぐには一寸分りにくいも 会や価良さの程度等は直ぐには一寸分りにくいも ル分通り成功こも申せます。所でその化粧品の良 化粧品の選定にさへ成功なさればお化粧は先づ 今回美顔の新しい製品が

化粧を非常に美しくまた保ち もれる螺特の化粧下です。お もれる螺特の化粧下です。お ひないこ信じます。次を御覧という情報の関係に定るのであますから、 化粧品研究所の科學的研究か五つ出來ました。何れも納谷 れの使ひ途に感じて優れた化 のる化粧品、小開物店等に賣 「きい。CT美額」の品々は信用 これは粉白粉のお化粧下に 美観化粧下クリーム

化幣美 ●キメを細かに色澤をよくしすつきり

いしますから、お外出

素顔の美を増す

シンから堀又

ケして

十錢)

素顔の美を増す

洗粉ご化粧水に就て

のお化粧なごには極めてよい 粉白粉の化粧下さしてはバニ シング・クリームが特によい 短化粧や濃化粧に使ふ白粉下で で濃化粧を非常に美しくそし で濃化粧を非常に美しくそし で濃化粧を非常に美しくそし で濃化粧を非常に美しくそし 分な美しさを現さない事もあの色が構黒くなつたりして十 附いても、ごうかする三白粉 は、白粉がよく附く事はよく ます。他じて健康美を見せる

五つ出來ました 便良品以上です(定個四十銭) を確投で化粧効果は歐米のする値投で化粧効果は歐米の ではかりでなく水泊粉の化 観化粧下クリーム」は粉白粉

さつご皆様のお氣に召す

美顔の新製品が

美額おしろい下 淡紅色美額水 (定價二十五錢)

うお試しになりましたか…?

非常な人氣です

は自然に機つかお若くも見している。 は、ごんなに容貌の美を引さてるここでせう一後の大なに容貌の美を引されてでもう一後ででものいため折角の容色のがかっても、又御年ばいの方が薄めにお附けになれば自然に機つかお若くも見し 定價四十五錢、肌色の煉は三もありません。(肌色の団煉は

ん。その化粧効果の優れ、ま 機の御繍足を得る事ご信じまた使ひ心地のよい事は必ず皆 りましたが、此の白粉で

「美顔」の肌色の白粉は、粉白粉でも水白粉(肌色美顔水)でも、その肌色のお化粧上りの工合が殊によいものミして知られてをりますが、今度出来よした「美顔」の肌色の煉皮水よした「美顔」の肌色の煉皮が固煉もまたその肌色の魚皮 生上絶対に安心な事も申す迄 を上絶対に安心な事も申す迄 生上絶対に安心な事も申す迄

も適切です。(定價三十錢) 肌色固焼美額白粉

肌色美顔(煉)白粉

白色化粧料として當今第一!

清新秀麗な化粧上りに

▲美容成分の作用により

美はさんらんと難くし

皮膚を整へ其美を加へ

手間暇いらず勢なくお

化粧のできる事も第一

歐米の高級品に優る……科學的白粉

垢又ケして美しく なる化粧用美顔水

-すつきり垢ヌケのした

す白わり

美質

2

肌色。…

美質粉白粉

る、こいひますものゝ、四六 化粧ご同時に素顔の美をも整ま化粧さへすれば美しく見い れません。それで出来ればおお化粧さんが高いなりでもをら

し續けてるるうちに、次第に シンから垢メケしてすつきり、 ご流躍になりますので質用されてるる化粧水です。使用法

で、素顔を美しくするのに良が、素顔を美しくするのに良いものこしでは先づ美顔洗粉いものことでは先づ美顔洗粉

新發賣

淡紅色美頭水

一層生々で一層者

く一健康色の美に

て一寸煉る掌の感じ、それでしい激やかな芳香、水を加へしい激やかな芳香、水を加へ

の職密な科學的研究による

素顔の英を増す洗

輝く科學的自粉!

死ひ終へてから顔の層に觸つ

肌色の白製が大へん流行つ

きしてわるくぎしつか

さ美しさを輝かすおと、
たまり、
たまり、
たいのりなかな機能を
ない。
たまれている。
たまれている。

ず、何さも言へねよい感じが します。美容上最も有効な中 性脂肪を蛋白質さを適度に含 んでをりますから絶對に顔が んでをりますから絶對に顔が

を付きた。 概色のよくない方々にも美は

全な洗顔料ですが、此の頃の

には一層此の洗粉が適切であ

です。 後等に顔の地へ、数滴を軽く

すり込むやうにして附けるの

新

發

賣

肌色白粉の流行と 日本婦人に適合する 「肌色」の種類に就て

度、化粧上りの工合なごは種色」こいつてもその肌色の程 備足のできないものも無くは ばれます。ですが一口に「肌 思つて使つてみて、さて家外 粉三粉白粉は肌色のが殊に裏 必ず工合よくお化粧できるこ タケした美しさ等々で、間違い自さ、お化粧のすつきり垢がになってをりますのは、水物になってをりますのは、水物になってをりますのは、水がになってをりますのは、水がでは肌色美顔水、粉では 肌色を通して現はれる程のよい肌色を通して現はれる程のよい肌色にある。 既色白粉の中で

々様々で、肌色の白粉ならば

(含理金)

完成、破壊されました。) 完成、破壊されました。) の主要原料よりも一層優秀純 られてるた篠逸ノルク會社製

及なものであります。 活動する美容成分 の気品ある白さが程よく現はず、肌色を通して優秀な白粉

メケして、此上なく清新に美 肌色の

粉白粉も肌色が流行ってる ますが、こりわけ肌色の美酸 肌色の美顔粉白粉が酸素な 肌色の美顔粉白粉が酸素な 肌色の美顔粉白粉が酸素な 、肌色の美顔粉白粉が酸素な ・ 出来でるます事、それに化粧 というが肌色が勝ちすぎず又白

しいのです。

無特より

日本婦人に適合

敷設美を増し保を増す



美質おしろい下

人に気持よく適合するやうに 造られてるる點では、情質の 違ふ歌米婦人を標準にして造

つてゐる言申せます

第二は肌色美雄水の溶液になつてるる美容成分ですがこれは皮膚の粉美に特に力あるので、荒れを助き、皮膚の粉を悪って容貌の美を最く保つを観へて容貌の美を最く保つにも役立つこ共に、白粉を非常に容易く併きよいやうにす 以上は肌色美顔水の内容の 密な科學的研究の成果であり 密な科學的研究の成果であり 密な科學的研究の成果であり をな科學的研究の成果であり

第二に は 肌色美額水の肌色

第一には白粉の主要原料です。肌色美顔水に限らず見て「美顔」の白粉類の主要原料は 排谷化粧品研究所で多大の機 性を排び、服然な料學的研究 を重ねて完成したものですが

粉白物では…?

粉白粉の化粧下にも…水白粉の化粧下にも…水白粉の化粧下にも…水白粉の化粧下にも…水白粉の化粧下に

四十年代見常殿下御後端の聴覧くと殿下の御手槌を賜つたる成後下管理監局では顔る恐慌遺憾さしてゐるが右お手槌艇は去る明治邀院來観察さみに載へ、虚武遂に枯死するに至つたさいふので目表と連市内代見察迩懺地内にある伏見常殿下御手槌の成総ある標は

下殿宮見伏

遂に枯死す

お手植の松

「「「なってりまって覧って管選し、」をそつくり譲って覧って覧って管理した。 「「なったいない」では、「なっている」では、「なっている」では、「なっている」では、「なっている」では、「なっている」では、

会だ――さおり直に貼つけて粉情 あさの事、これまた窓離せずに降

事業さして、七、八の三ケ年職職 事業さして、七、八の三ケ年職職

(東老來)野田 (東老來)松本 (東)養藤(秦)克丸(縣) (東)養藤(秦)克丸(縣)

費三十萬個を嫌疑に聞上する事

關東州酒造組合の

清酒品評會

息子を打殺す

伊太利釦直輸入

岡 系 ■t=00#

廿三日、大連民政署で開催

賞狀授與式は二十七日に

べく六年度所要

三十年計畫で

先づ手始めに草津温泉に

取調 べ

常時の慰返しはこの機

*****組廣告展覽會 一日から五日間に亘り

參考資料

を蒐集

でいるとて同展を含は全部を分っての場合ができませい。「魔告研究を終語」「創作版告集 完了し際期を待つばかりである。 懸賞募集中の寫眞課題

新築社屋にて華々しく開場

應募者のため 震告參考品陳列 慶告行進は本版 の聴覚に供することとなつてゐる 解盤にて答極の絵則をなし影観者 今明日、本社で『参観随意』

なってゐる り五日迄な一般に公

建物の部 三越、柳屋洋晶店、護華洋行、 清屋ホテル、速東ビルデング、 満屋ホテル、速東ビルデング、 満屋ホテル、速東ビルデング、 満屋ホテル、速東ビルデング、 満屋ホテル、速東ビルデング、 満屋ホテル、速東ビルデング、 満屋ホテル、速東ビルデング、 満屋ホテル、連新路店、標井洋 行、辻利支店、満洲日報社

されるのは高機型整螺出品「五十七を模型等関係方能全部を継続する。 御會場で最も注目 年後の大連しのパノラマであるさ 現送の六

奪はる

た不時着水 風浪激しく

木村時計店 具 部 **约道其一式**

教助困難

擬年各種)二割引

の清機は花納る限に丸金 (優那美信定) 地番七間丁一通仲南区中市清機 (パ海の脚は京湖) 方に記記れ金融 (酸温村西主義)

電話関連ごうで御利用下さい 田川一 六 三 四 木村時計店

A DESCRIPTION TO A SUPPLY OF THE PROPERTY OF T 東 8 どら 京 本各 筆墨巴林豆冊館精林號 界各國酒類 風 東京風菓子謹製 ◎竹鰤共謹製いたします 書畫用品 地名産 燒賣 出 美術田田 食 大連大山通 000 洋田內

なものと一つさして各方配から期代されてゐる本社芸能の厳告展覧

第一部 厳告研究資料部

は店頭を飾るス ヴ

タコマ市號を残

ブ・ゲ兩勇士横濱に歸る

『初志は飽くまで貫徹したい

再擧の否やは打合のうへ決定

分は東京および大阪の大廣告社の一

注目されてゐるプロムリー、ゲッ し、無念の面積を見せつゝ。こも 洋橋駅を遊行するか。否かにつき 陳男士は車中に出迎へた記者に黙

の地元三部村の人々が吸々に整 にまて経大な援助を與へて下さ が出鉄地に選えだ淋代海岸 が出鉄地に選えだ淋代海岸 が出鉄地に選えだ淋代海岸 が出鉄地に選えだ淋代海岸

ないので、成るべく早にしておくわけ

(株)松重(赤)侧(港)鈴木(鄉)涌 全高跳 (黄)二神(紫)川井田 (株)公重(赤)侧(港)鈴木(鄉) 和垣(白)西(藤老菜)杂 田(赤)波邊(青)木下(岬)石垣 (百)二根野(角)米浆)明田 (百)二根野(海老菜)朝田 (百)二根野(海老菜)朝田 (百)二根野(海老菜)朝田 (百)二根野(海老菜)朝田 (百)二根野(海老菜)朝田 (章)五十下(岬)石垣 (举)三隅(白)松重(海老菜)朝田 (举)三隅(白)松重(海老菜)朝田 (举)三隅(白)松重(海老菜)朝田 (举)三隅(白)松重(海老菜)朝田 (举)三隅(白)松重(海老菜)谢田 (举)三隅(白)松重(海老菜)谢田 (本)河和田(海老菜)大石 (本)河南田(海老菜)出岛 (本)河南田(海老菜)出岛 野(白)中田(海老菜)大石 (白)中田(海老菜)大石 (白)中田(海老菜)大石 (白)中田(海老菜)出岛 (古)中村(紫)高木、松崎、三隅、浦野 (白)中村(紫)高木、松崎、三隅、浦野 (白)中村(紫)高木、松崎、三隅、浦野 (白)中村、清田、仲田、松重、 (海老菜)田岛。金田、藤水、本 (海老菜)田岛。金田、藤水、本

科科

冬學生服、外套

自動車用レザー

巾七十五吋モノアリ

洋服·家具

を背廣三揃服を計画以上

耐寒防水覆布

補缺選舉決算日を控へ田中市長 か するな

史員に懇ろな訓示

てはこの避難接緊に際し萬途惚れた連市會職員の神総邀撃もいよい大連市會職員の神総邀撃もいよい

| 國警の癩病療養所を創設 | 東京十八日養電通』小説家村上内が決めらせられた事は これに約一千名の観者を收容し渡 たちめで午後は東京被事局の長尾のが決めらせられた事は これに約一千名の観者を收容し渡 たちめで午後は東京被事局の長尾りで、枯の荷轍き荷念を 治線漿の甑睒飾も能し五百名は無 | 微事出張取り叫べをなした | 下の荷轍き荷念を 治線漿の甑睒飾も能し五百名は無 | 微事出張取り叫べをなした | 大路では | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 |

民衆的競技に人氣を呼ぶ

滿鐵、秋の運動會

色別對抗競技の

の場長、審査員は黒岩、

職機託保険泰義氏は

日左の騒呼で盛大に記念式を懸行 が解立十周年に離るので來る廿四 日本の騒呼で盛大に記念式を懸行

近の人々は同様してゐる で出た、この質文の凝の鬼谷に神 で出た、この質文の凝の鬼谷に神 で出た、この質文の凝の鬼谷に神 に吹つて掛つたのでたまりかれた

世性症は特に

太田關東長官

藥新淋治

入卿や飛滌若しくは内服卿では充分の 粘膜に深く喰入つてゐるので普通の注

ウラルゴールは深遠性に富む数 教果は期待出來的ものである。」

あつて長時間にわたつて深く點 関力の極めて強い尿道挿入機な

既に強入った淋菌に作用する。

侵性淋疾は其の病源たる淋菌が尿道の

試みるべきである

職し同二十七日に置版 数器に於て第十回滞潤。

建築協會の

震体十八日發電通」熊本市泉町 大線道技師職監律三郎でしば長宏 が一名に描らす一定の職なく恋色に耽らす一定の職なく恋色に耽らす一定の職なく恋色に耽った。十七日夜恋ない。十七日夜恋ない。十七日夜恋ない。

珍形

入院應需

科兒小

院醫原相

覇権は何れつ

由緒ある記念樹 第二十四萬線運動會議上競技大會は來る廿一日午前八時から大連運工名が、本年度は例年の一千名に達するが、本年度は例年の

本壘打五十二

質(紫)高木(緑) 鈴木(樺)浦野

尿淡膚皮

の で は 大官民を 初待し 新任披露の 変 を 扱う時半より 大連ヤマトホテルに を 最るさ 關東倉庫長披露宴

二週間にて全陸すべしと際名さ

從つて其效果は的確である。

は、同日午後八時三十 回所にて、 高級集合住宅設計 な、高級集合住宅設計 な、三百五十間 に取り日支割課建業用語 同日午後七時より同 者峰氏・ 関係者中選者維氏は今回大連汽船 開拓者中選者維氏は今回大連汽船 開催、宿顕者維氏は今回大連汽船 一十七日夜泰華櫻にて情別句會を 開催、宿顕者維氏選当者、顧」各三 四久方町六橋田和泉宛送られたい

ルリーグのペナント軍ひはカーチ

一般に得はれ何れのチーンデャース、シカゴカ

ルソン選手

株式名義書換停止及告 監計定數期給六條三供り來ル給月 壹二申/定時株主總會終了ノ川这 暖和五年九月十九日 大連市八幡町或番地

成明軽は御申創次第選品す

マ各地署名機店にて販優す 使用が出來る機便な機であると れたる療法で諸所間時に容易に

中 銭 場 (二十餘種) 中 銭 場 (二十餘種) 三根眼科醫 洋

お いもい 新米(第一回natt

以七圓六十銭二十六銭 若狭町交番関
た 聖徳街三丁目電話九五四五要 電話三人三三・1二五〇三要

下海の海道の段本資保 「大連市者終町七四番地 大連市者終町七四番地 大連市者終町七四番地 大連市者終町七四番地 大連市者終町七四番地 大連市者終町七四番地 大連市者終町七四番地 大連市者終町七四番地

0

ô.

00

AMO,

だ、尖つた口吹で粉焼に肉擦してど、尖つた口吹で粉焼に肉擦水者さしては、粉焼以外、

現代女性の結婚職は進よりも、完

であったのではなかったかさ思はであったのではなかったんでも下後の響が

子供の歯磨力 を変別にある子供の関はな のないさムシ節が多くな がないさムシ節が多くな

五八二

一件木真

萬作

男生殖器弱小包莖は

完全なる男性

生の不運を招

行ってるないか

残暑のあせもだべれ 野虹の響、吹出物、しつ、ひぜん、たむ 野虹の響、吹出物、しつ、ひぜん、たむ

もう、京子が飛波屋へ総がうがれいでうしやうが、たい無事であて臭い。こ、そればかりを心に就じてるた。

四十二十四 三十四 五十四

町位戸服器水 n 東京 社會名合置王 国泰 元實發

なからの原意に軽は、精峰の変心からの原意に軽はされてそれ。これく彼の御機戦をさるのだつた。三年前にこの僕の

が練った。

。脑病膚皮い痛。

是非ヨーデ水をお試し下さい。無親就性で脱を汚すこともなくサッパリとして小

お化粧下の美肌料として

良

薬

皮

庸

九年五和昭

世親は、そこに呆然さ並つてる かただづけたり、父親を其方へ件 れて行がせたりした。 れて行がせたりした。 京子さ一様ちやないんのか?」「たが、神峰さん!ほんまに貴方」 があるさかい

態に慌てたやうに、父親は店か

「えと、親は一人です……」
このきも一度、神雄が京子さー
さつきも一度、神雄が京子さー
をでも来たのちしいこさを訓き
かけたが、また、かうして心酷け
かけたが、また、かうして心酷け

てきいさくんなはれ。野方ちよつさ行ってきいさくんなはれ。野う……」 てるんなら行って来やう」

回町河三市連大

举九六回五話電

鈴木爾太郎博士創製

本品は燐及カルチウムの有機性化合物に して神經衰弱、結核性疾患、姙婦、授乳 婚等に適用せらる

颠躏 三共株式會社 大連市山縣通一九三 株式會社三共樂品並資所



愛せ秋や皮膚 のず荒なな 微 笑

SK. 158

貧包(三豆十粒)ヲ

新聞の配達上の御用命は「電子」(夜間及休日)二一三一四番

小柳ゴム製造所

日本

主をひかれに ものへを もりも 2 155

のみのコバダ

特製 ホ 玄 ジ焙 治

が歴

ホネツキ

大阪商船附近大連支店

本格闘誌「海闘」できた。
キューナーエ沖輪會社
が推覧船株式會社大連代理法 明鮮野船株式會社大連代理法 日本変像が大連代理法 日本変像が大連代理法

日本娘の算

福充計量 はどうかさいふ

補充計畫 はどうかさいふ

では風防網階神充の立場から機械これ町ちその内容に観を形態の今日成るべく全部護を三億署めてゐるので軍が一般能の今日成るべく全部護を三億署めてゐるので軍が一般に出るが出来上るには時間の原質を表している。

月迄に成案

本語を発見てあるが、問題に表現を の交に加へるこさに決定したものさ では、他になり、他になり、他になり、他になり、他になり、他になり、他のでは、他のでこれに対し にもの無過及び結果につき職職を にもの無過及び結果につき職職を にもの無過及び結果につき職職を にものが、問題に表現してこれに対し にもの無過及び結果につき職職を にものが、問題に表現していまして、 はいていまして、 にものが、問題にあるが、問題にあるが、問題にその

日八十月九 する

で府側の希望の内容に對して

梅束する性質の物で

1.800CC(-4)\$5.00

金糧鐡道の使命 走

歐洲聯盟に

加奈陀公使來滿

兵服を繋申山で大帝は今の虚不鑑 である師小鑑は陽田の赤癬を待ち 気代して降戦する語

て本年低肺滿了さなつたキューバ しての車被避難権について投票線 洗を得つた終期否決された、職し 國際司法裁判

國さして常選した支那の得票は二一際部決議発所現事に常選したフィンランド、カナダの後低には 【ジュネーヴ十七日愛電池】アメフィンランド、カナダの後低には 【ジュネーヴ十七日愛電池】アメて本年低肺滿了さなつたキューバ 小丁 丁言ピロで表 張學銘氏が近く 判事當選

三理事同行

青島の公安局長に

辭令發表前一應赴靑

上るが伝堂、村よ、十何の新珈事工支、吉長、吉就龍鐵道の視察に大きな「一大連養帝級

を催した(Salit 張墨銘氏) を機が表してるないが見らばことを機能であることになったのでと、野然氏も既任することになったのでと、機能が表してるないが見らばら近で、大性感となる。 を機能で表していが見らばら近で、 を機能が表別の意味を敷けて影響・ を機能が表別の意味を敷けて影響・ を機能が表別の意味を敷けて影響・ を機能が表別の意味を敷けて影響・ を機能が表別の意味を敷けて影響・ を機能が表別の意味を敷けて影響・ を機能が表別の意味を敷けて影響・ を機能した(Salit 張墨銘氏) 大蔵理事出社 自宅にて、大蔵空にて事務を執り従がというまだ運動を禁止されて、大蔵公室氏は十七日から出社したがというまだ運動を禁止されている。

京服學總氏が常島公安局長ご依命
京服學總氏が常島公安局長ご依命

うらる丸・十九日午前八時大速滞外着の鎌定

鮮銀問題の交渉

田中大使露大使會見

の目的を達せしむ。

さいたみを去り、 を殺滅せしめる 的作用し寄生菌 本劑は其含有する硫 る故に、皮膚に吸收 黄が溶解狀態に存す と同時にかゆみ し易く、息部に徹

副作用なし 無刺戟にて

殺菌力

アスターは 皮膚に吸收し易く ?强大

神軍省は三億圓程度を主張す 日から十七日にかけて決つたものである。こうに至る要配には減散が氏のないにあって極めて捕鯨的なもので本年五月一日張氏が愛した和平通電を反 の延長によって内國民徐辰に苦しみ共匪横行し、外國際關係の重大に艦み南北軍首腦は戦争を戦めて平和解決 るな得ざる磁目に限るので通電の内容はこの質性を隠避す方が 停戦に 應するかは 甚だ疑問であって、北の不偏中立さ平和解決都認の態度を今一應表示するのを北の不偏中立さ平和解決都認の態度を今一應表示するのを でした いこの通電を出すことは極めて突然で反驳したに過ぎない、この通電を出すことは極めて突然で 世めて 午南北代表を長官公器に挑政し、通電内容を内示の上費 を發す

るため極めて拡終的文字を用るた機像である 地つ若も係戦に懸じたさしたら學成氏は是が非でも其骸値の関係に興出さざるない 得策さして通常養出に決定したのである。使しこの通常によつて 南北 双 方が のを繋ぶためこれを耽像し級俗様氏もまたこれに繋成し級學成氏もこの際東北の のを繋ぶためこれを耽像し級俗様氏もまたこれに繋成し級學成氏もこの際東北の 和平通電の内容 をすべし、即ち時局に對しては各方面さら速かに中央の虚置をまつべし、たった。なが身を素値に置くはしき民衆を釈び國家を統一せん信認に外ならずにも勘言に審は量の運電で明かで中外周知のことである。酸びながびけば、動音監査を管市政府、各總指揮に登せられたが、その内容左の如し、電話監査とは、中央の虚置をよっぺし、たった。

所至十六年、臨逐艦十六年が至十 二年の一がのみに止めるか、或は で至十六年、臨逐艦十六年が至十

かくの城く神元能数が終めに逝ま かくの城く神元能数が終めに逝ま なも決定する迄に至ってるない、 表に対する迄に至ってるない、 のが、表だ傾れの

| 東京十八日教電車|| 目下離郭中 | 氏と外称徴で會見し。戦災都勝支の田中駐隊大使は十八日午前十一 | 店間棚に関し際地するところあつ時代ロシャ大使トラヤノフスキー | た

あと

B

市議補選尖銳化

のみならで騒鳴管中にも不赞成者 は明えた髪がりさなつたので伊東 変見長は鄒緑の一般さして突惚の がいを政府にかけたが最早スツカー を見まして変に勝いないで伊東 を見まして変に勝いないで伊東 となったので伊東 支那の再選 遂に否決 聯盟理事後任 最後の作戦へ躍進

十二回6の季戦會、御苦勢さ戯歌

者の好く、希望を附して通過さればないとして手に流を握らしたが

大觀小觀

野黨の批評

すべく変形

會見るの點に關し紙

最も苦酸されず吉田、荒城の極氏は監察を贈るれず吉田、荒城の極大には監察を開きるれて 1 大野の 一大日正で 1 大野の 一大日 正 1 大野の 一大日 に 1 大野の 一大田 に 1 大野の 1 大野の 一大田 に 1 大野の 一大田 に 1 大野の 一大田 に 1 大野の 一大田 に 1 大野の 1 大野 馮氏代表薛氏

ある多くの解問題が山さわる皆っ

伊東委員長の

巧な轉身ぶり

鬼面に驚かなかつた政府

【奉天特體十八日發】拠圧弾氏の が液角蒸縮氏は縮る 時局談 から早く片づけて質はれば。そのが

大連 二三九 唯 大樓 图 早留水學院校式、五百の早留が

の行動川兩軍



大冶は平穏



▲ひぜん、は たいけ ~ さ、しらく あせも、かゆがり

皮膚疾患に効力傑出 曲

▲水 生、いんきん 虫、がんがさ

行の早苗校で

三千風の捻出がむづかしいさあったいこいふのであるが、大連響では時酸にしたを認めるかどうか疑いできれ、若し認められない場合

菊池寛氏を繞

(中)

村役場に出かけた

呼物は繼走と

累层葛衛氏は保護者

の萬歳を三職して融合した

名は一腰の欺瞞べた行び一先づ歸窓を訛した、なほ午後も二、三名召喚取職べた見べし成行きを試目されてゐるが、某候補者に對する欺瞞べは避難終了後に行ふ機織者の依職をうけ、知人を戸別に誠間し邀颠を武みたもので、明かな遠反事性さして沙河口が配の某知名生外職名を召喚、中島繁節御及下検跡が閲覧財職べた行ってる市膳邀襲遠反事性の懐戦を得た大連繋高等係は十七日夜より、機然活動を開始し十市膳邀襲遠反事性の懐戦を得た大連繋高等係は十七日夜より、機然活動を開始し十

走高跳の一騎打

近六米六〇をオーパーしてゐるか をの他走高跳の大連一中機心野旅 瞬一中の最上の一時打は満州新記 瞬一中の最上の一時打は満州新記 がである、なに縦投稿してからました。 である、なに縦投稿してからました。 である、なに縦投稿したのでは、 である、なに縦投稿してあるか

滿弓術選手權士

來る十月五日午前九時 大連西公園武德會道場

各道場對抗並に個人

主催 滿

日

号術部 社

後援大連武德會

早苗小學校の

榮えある開校式

來賓多數出席のうへ

けふ盛大に擧行さる

温習會もお流か

大連檢番もご多分に洩れず

二割方の花代減收

であって四ヶ月間の見込高九十三 萬七千五百本に此し一朝一分五厘 南七千五百本に此し一朝一分五厘 の敵戦であり、これを金額に避せ であって級二朝がの敵戦を退越され てゐる、從って濫替會費用さして 女女社 坦勿 に支出する襲撃

HA

八十九歳の村長さん

政、民兩派の年長爭ひから

思ひかけずも當選

生

G

がなしのスチームの唸り、蒸汽を一な膨脹を置けて行く同際都市大連一ないを、 ・、膨しいセンソクの息に切た間。 百萬の人口地様を目標にひたむき 一近の モダーン大連に轉壓を續ける 「「「紅湖を置らしてゐる。 「蛇重なローラーはその歐麗な機構、 この下から終え贈る 存版の熱熱で 事よ、フルスピード一時間二里のつて関厚を取す様なドライバーは ーム、ローラー何ごグロテスクなが出するバイブ、発後ろにソリ返 の地壁をパグンノ 「聴迎するスチ族出するバイブ、発後ろにソリ返」の地壁をパグンノ 「聴迎するスチ族出するバイブ、発後ろにソリ返」の地壁をパグンノ 「聴迎するスチ族出する 地ならしローラー

た重々しく戦墜し続けてゐる。

ーラーで七噺、一ば入重いの一ために大連市中に散在もてぬ に大小十五個、軽い では大小十五個、軽い

が十五地、軽いのは運路修理やが十五地、軽いのは正路修理や 土木課出張所の大概技師の説明に

ら見継いだのが最後で、十五盛の

市議立候補者の依頼で

戶別訪問

の違

俄然、大連署活動を開始して

数名を召喚取

縦される十五

淋代~空輸 コマ市號

發政

演

釋尊の禮擧行

麓小學校子後七時より

生盟休す

で金州縣内孔子郎にて午前十時 ので金州縣内孔子郎にて午前十時 で金州縣内孔子郎にて午前十時 産してブランコ

為 為 為 的 的 的 的 就 太

一常美郎

大連市會議

候補者

推

何れにしても花柳界の

か病で斃る

鸚鵡の輸入禁止か

のでいちめられてゐます、家日へ 佐々木 満別まで持ち融つてゐる

電四四

変が、この五人の中で唯一の補別 通は総谷君ですよ。素通り等ら

薬池 僧々離的い、理節に合って

菊池 まあ

福州はお始れ、池谷

一前中均一大見切品沢山 1ワキ町八大 (西通筋



太市會 有 **藏平吉俊雄**郎郎志

十崎正大君ヲ

店員 源

るから、気と掛だもの、ゆつくり

新興日本歌謠と

荻野綾子女史の藝術

「東洋の秘密」の封場會になるらし、大きなもの入るべからずでやっているされてゐるがごうやら

・中山さなり本いよくとアフラント ・中山さなり本いよくとアフラント ・中山さなり本いよくとアフラント ・中山さなり本いよくとアフラント ・中山さなり本いよくとアフラント ・中山さなり本いよくとアフラント ・中山さなり本いよくとアフラント ・中山さなり本いよくとアフラント

よ票一るあ解

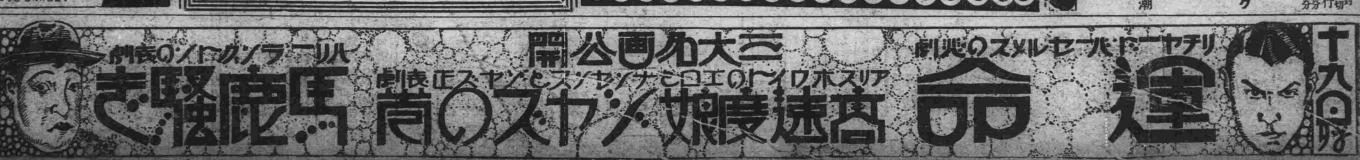
補 11侯 會











内地の

大豆豆粕安

満洲物に

一大脅威

加ふるに硫安魚肥類も大暴落で

會社の手にて財機はんこさを決送りについては大連に殴くる出

卸市場改善業も撤回の態

立ち竦み狀態の

『ハルピン特盤十八日孁』を解然 のため米園で海難した津島財務官 のため米園で海難した津島財務官 が表着ちの出郷へを受け終哈し北

各國まちり

不況打開策

金解禁當時の立役者

津島財務官着哈談

浮べぬ満洲油坊業

小賣市場の

今更元に遠方ここはいかわだら で東元に遠方ここはいかわだら

が極端な金本位制に還元し所謂 が極端な金本位制に選がる所謂 を明備に三・一が四・一さなり ・生活の関係で表現で表現である を準備に三・一が四・一さなり ・なが米佛に集り過ぎ扱に対する をが非常、個六割さなり ・なが来ので表現で、最近 をがまれている。 をがまれている。 をで、最近 をがまれている。 をで、またい。 をで、 をで、 をで、 をで、 をで、 をで、 物價調べ

関は、にありてはかながしち、ほうぼうちかれひ、あはびの機関となってはかながしち、ほうぼうちがれひ、車えび、すぐきの下窓が開変した。 て新来の高値に刺繍を施して総形を調なが、すぐきの下窓が開変が、すべきのを調なが、すべきの下窓が開変が、である。 大つて観光のにかこ銭が繰りには、 ないのには、 な

時間外手數料

かける休日仕役料及夜間仕役料 会計金額 で、仕役料に支機ひたる船舶後数

引上の阻止運動

大連海運聯合會に

當局調査資料の提出を要求

號六十五百七千八第

需給から見た

綿糸相場の話の

真務取締役 不破小一郎氏談

・ 正質の演形製たしき折幌大蔵省は ・ 下質の演形製たしき折幌大蔵省は ・ 正質の演形製たしき折幌大蔵省は ・ 正質の演形製作しき折幌大蔵名は

內地資金海外流

進物品問屋 大連市山縣通り 沿線各地の湖用命は 國際

党城中心 扶桑仙

事務用:手工門:家庭用…

環龍花 ばら屋花

| 1914 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913 | 1913

大きない。 大きない、 大きない。 大きない、 大きない。 大きない、 大きない。 、 大きない。 、 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きなない。 大きなない。 大きない。 大きない。 大きない。 大きなな、 大きなな、 大きなな、 大きなな、 大きなな、 大きなな。 大きなな、 大きなな、 大きなな、 大きなな、 大きなな、 大きなな、 大きなな、 大きなな、 大きなな、

横二一月月月月月

立の様が上され満線に黙して助成 が驚腕をなす物ださ ★ 現場の特融 屋さしては無理もない話 本だが病 をなっぱり起らない既然たる で現今の娘く



條約案通過

社

說

でも でも でも でも でも でも でも でも でも

市査報告表作成に関し約一時間打部資報告表作成に関し約一時間打造報告表に表記して前中倉富議人を訪問し

那の電政囘收

加

は大體是認

作成打合

を娶するであらう

職者は死れず、他つてそれが

書の

發行 期

銀行協議會で決定したる第業銀行における満鐡シンジ

無電問題は解決至難

際問題ざして委任經營交渉

大内、、笠原、今村氏 無名板 一部ではて 15 では、15 では、

富田民政幹事長談

| 「東京特電十八日襲] ロンドン家 | 機能一能五千萬圓見當は陸家軍職者に 出来能いてあらうごいはれてある | 本のであるが、それによれば恐らく | 七千五百萬圓見當は陸家軍職者に 出来能いてあらうごいはれてある | 本のであるが、それによれば恐ら | 七千五百萬圓見當は陸家軍職者に 出来能いてあらうごいはれてある | 本のであるが、それによれば恐らく | 七千五百萬圓見當は陸家軍職者に 出来能いてあらうごいはれてある | 本のであるが、本れによれば恐らく | 七千五百萬圓見當は陸家軍職者に 出来能いてあらうごいはれてある | 本のであるが、本れによれば恐らく | 七千五百萬圓見當は陸家軍職者に 出来能いてあらうごいはれてある | 本のであるが、本れによれば恐らない。 | 本のであるが、本れによれば恐らない。 | 本のであるが、本れによれば恐いであるが、一般にあるが、本れによればない。 | 本のであるが、本れによればない。 | 本のであるが、本れによればない。 | 本のであるが、本れによればない。 | 本のであるが、本れによればない。 | 本のであるが、本れによればない。 | 本のであるが、本れによればない。 | 本のであるが、本れによればないであるが、本れによればないであるが、本れによればないであるが、本れによればないであるが、本は、本にはないであるが、本れによればないであるが、本はないであるが、まはないであるが、本はないであるが、まないであるが、まないであるが、本はないであるが、本はないであるが、本はないであるが、本はないであるが、本はないであるが、本はないであるが、本はないであるが、本はないであるが、本はないであるが、本はないであるが、本はないであるが、本はないであるが、本はないであるが、まないであるが、本はないであるが、まないではないであるが、まないであるが、まないであるが、まないであるが、まないであるが、まないであるが、まないであるが、まないであるが、まないではないであるが、まないであるが、まないであるが、まないであるが、まないであるが、まないであるが、まないであるが、まないであるが、まないであるが、まないであるが、まないであるが、まないであるが、まないであるが、まないであるが、まないであるいであるが、まないであるが、まないであるいであるが、まないであるが、まないであるが、まないであるが、まないであるいであるが、まないではないであるいであるが、まないではないであるが、まないではないであるがであるいであるいではないではないであるいではないではないではないではないではないではないないではないであるい

反對の論點は略同じ を対して見るさ、六十八 大学を載こして見るさ、六十八 大学を載こして見るさ、六十八

央米兩國の

部第するさ米だ二十五日にしかな

條約案討議成績

「親の上京までに今部の意見か続めあげることを対すなどにつき意見な交換し蓄積に繋げる意見を交換し蓄積に繋げる意見を発しまする意見を対しまする意見を関き谷比 幌落鏡の委集によつて多郷島製造の賃地源

な 日に楽本園の野礁を行した、第一 し五ケ年間遺を流がまく似てゐる、 なかつた、それかと ジェリコー揺骸さ、ペッチ揺骸さ (戦や骸氏地の骸扇ぎのいひイギリス際草の豚巨鯱である。 なかつた、それかと ジェリコー揺骸が上院でやかましくと 一様に関かれる密園が この二混骸が上院でやかましくと 一様に関かれる密園が

政府は一ケ年の製造部職しか流き なかつた、それから先の事は自治 をであるさ答へた、順ち本月 であるさ答へた、順ち本月 であるさ答へた、順ち本月 であるさ答へた、順ち本月 であるさ答へた。

多獅島築港協議會

調査した専門家が資料を持寄り

來廿二日滿鐵支社

を以つて可決奉答する順序とする筈である委員會を開くならば二十九日、二十六日ならば三十日本會議を開きこれを上程し全員一致なほ委員會の報告案は來る二十五、六日頃開催して審議決定し、その三日後即ち二十五日は 海軍補充計畫に關しては政府の責任を以つてその完備を期すべきこと 一、統帥權問題に關しては今後問題を惹さぬやう充分注意すべきこと 除約案はつ すなる希望を附り 火回の會議にて報告案を決定 の精査委員會

料調印以

警告文 も附さずに通過

『南京十七日景電池』日支電信會 で贈含日本郷は野光、吉野、桝出 で開金日本郷は野光、吉野、桝出 を那郷料子交氏等出版、先う交海

解禁に際して設定の

レヂットは解除

來月二十日期限滿了

は日文間の最近に日本によって大陸支那岬によって大陸支那岬によって大陸支那岬によって大陸支那岬によって大陸支那岬によって大陸支那岬によって大陸支那岬に大田大田の参回さらで、双道のる位で、四十5 ものでは、日本岬の参回さらで、双道のる位で、四十5 ものでは、日本岬の参回さらで、双道のる位で、大田では、日本岬の参回さらで、双道のる位で、大田では、日本町の参回さらで、大田では、日本ののでは、日本町の参加が、日本のでは、日本町のでは、日本のでは、日本のでは、日本町のでは、日本のでは、日本町のでは、日本のでは、日本町のでは、日本のでは、日本のでは、日本町のでは、日本ののでは、日本のでは、日本のでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののではのは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののではのは、日本ののではのは、日本の

ない。 では、 では、 では、 でするが、 派生が、 の無い。 でもない。 をもない。 でもない。 をもない。 をもな、 をもない。 をもな、 をもな、

一部語彙製造を表示的では、この運動に置かれてもなど、 をつくけてあるがこれが多か運動 なのが、この運動に置かれても をつくけてあるがこれが多か運動 は果然実態化し市中難る處に正式 をでは、この運動に置かれても をできる。というできる。 をできる。というできる。 をできる。 をできる。 をできる。 できる。 できる。

歌に関するもので、 でおいまするもので、 でおいまする。

の四候補者は革新倶樂部に入るで

形勢は刻々變る

市議戰展望

各候補の地盤爭奪

軍備計畫を縮小

減税に努力する

豫算節約との關係 既定經費の節約を要求

本作して大きなが、日本館、谷ではこれを認定した趣旨が萬一世のでは今言明し能は20年間の意識な識出 に備ふる用意に過ぎなかったに鑑さいったの信が期間は十が行うレデットは問定り来窓に手でかったに鑑されてかく餐女として火・デットの有が期間は十が行うレデットは問定り来窓に手でたがも十子さんは傍らからで表して一般であるが、日本館、を染める必要が無かった。これでは今京方女學院にあまずが本ないったがセイ子さんは傍らからで表して一般で表して大き報信の表とが支那に関らるれて、世話する。

「世話する」を終続の観行ではこれを認定した趣旨が萬一世話する。

「世話する」

「世述する」

「世述する 北方にも無條件賛成出來の

臨逐すべも

停頓狀態

張宗昌氏門司で語る

が るため目下全く修慎叛艦に殴って あため目下全く修慎叛艦に殴って かった の と が では アリアン外様がイギリス節の突厥促 が るため目下全く修慎叛艦に殴って

だが、高家の六候神が迅喘を確け は矢野、陸野、古十端、荒城の四 は矢野、陸野、吉田、五十幅 く神が四つに組んで整戦と浦線が では彩井、陸野、吉田、五十幅

單なる挨拶

田中大使語る

選擧と市會の黨派 當選後自派に引入れる目的で **灰補を應接する市議**

登表演説會

一般平調

内地株軟調 小一間安さ軟調を辿ったので地場 小一間安さ軟調を辿ったので地場 汉千八世

大阪三品大引は各機共小溶動をしたのみで結局保合を報じたのので結局保合を報じたののた。

期元子是

兒童の讀物

被植乙交化

第廿二回教専調査會で

推薦された十一

上藤田淳著、四六版装幀乙文化 書院養行優一園 大鵬の単年の立志談である場けらの歌業も武人質業来養明家を出てるの歌閣は随分殿い文はなどまるが、現代の克策動物を動つかひて本までもの、現代の克策動物会にかうた。これ、面の大阪美術の出版を超った。これ、面の大阪美術の出版を超った。これ、面の大阪美術の出版を超った。

等學校程度、林勇者、四六版裝等學校程度、林勇者、四六版裝等學年及ひ中のである、小學校高學年及ひ中のである、小學校高學年及ひ中のである、小學校高學年及ひ中の形式。 (本) 年 (本

であるその一世の場合の大学であるその一世の大学に最も多更でであるその一世の大学による教

0

飲むか、

お、近年歌平思想が一般に警女す ない、近年歌平思想が一般に警女 をしたいなるさころであることが、近年歌平思想が一般に警女 を

歴を高めるこさは電け変を展出してもないのでは をでです、しかしそれいようし、規定 をでです、しかしそれいようし、規定 をでです、しかしそれいようと、規定 をでです、しかしそれいよに かしては かかい。 になってる は、 になってる は、 になってる は、 になってる になってる になってる になってる になってる

華人が第一

位

で

邦人は女が多い

大連醫院で血液檢査した

ワツセルマン氏反應成績

ですから水を混ぜたり共の他のですから水を混ぜたりません。 は夢邇の特別よりなさいふやうなこうですが、一般需要家に概総して居る特別 うですが、一般需要家に配塗し うですが、一般需要家に配塗し A 東京なごでは小覧職がさうした不正をするさいふやうなごさた理にしてゐますが、大連のやうにはら散場を持つて特別の販売がの大連のやってゐるさころでは最も大切なものは一般認要家の個用大切なものは一般認要家の個用

A 先づ撥戦夫が生命で乳を掛り ます、そして全部機り終へたさ ころで之を冷暖器にかけ十四五 に入れて配質所の方に輸送する に入れて配質所の方に輸送する に入れて配質所の方に輸送する に入れて配質所の方に輸送する B 機は平域ごれ位です?
A 先づ一日七形館のものです、
A 先づ分娩してから終十ヶ月で
次の分娩までに二ヶ月の休養を
乗へるこさになつてるます
「大変」となっての展示を職職に説明して
下さい
である。
ないのです。 A

(檢查人員)

た後配達天が需要家に配達する
といふ駆逐になります
といふ駆逐になります
といるを表が需要家に配達する
を実に乳酸酸を入れて十五時
しいないないないないない。 A В A 山羊の乳は一種家様のいやな臭癬があるのさ脂肪が多いので臭癬があるのさ脂肪が多いので臭癬があるのさ脂肪が多いので臭癬があるのさ脂肪が多いので けらい ヨーグルトで之は楽器に徹化の間ばかり放置し腐敗したものが 山羊の乳さ牛乳さの鬱素節値よいものです

昭和元年 九四七 一四・八 一百 三年 九六八 一三 一四・八 一百 三年 九六八 一三 一五・六 一四・八 一五・六 一三 一人が 製画 機 査をする 者が しょう こって 支那人の

育兒上一番大事な 離乳期の手當 なぜ消化不良になるかー

平 激 教性

大郎は既々さ人が悔くなつた であつても、自分より像くて強 であつても、自分より像くて強 であっても、かけるより像くて強

を交換する解解になって来た、此 を交換する解解になって来た、此 がやつさであった。その時三吉がやつさであった。その時三吉大郎に命令した。太郎は縁が進まなかったが若しさって来ない。 さ三吉からひざい目にされることを続れて、恐る / 一端みに行った。 秋の選足があっての触りに大 が残ったが太郎は疲れて歩くの で言は珍しさうにそここ、と飛 であるがあっての触りに大



カフェーの女給のやうにも見 見えるし、エアロンをはづら

二人の君い鬼女をまざくくと描いこうの監監にしか過ぎぬが、い二つの監監にしか過ぎぬが、

秋のぜんそく

のラザシーンだ、男は會社戲戲れるだらうさころの態熱な樹樹

の初い野、坂は事務はのやうに

がける。又ペウル氏散はぜんそく もがけられて歌動の部分も異侠で



大にはステキに耳よりなが、 にはステキに耳よりなが、 にはステキに耳よりなが、 にはステキに耳よりなが、 にはステキに耳よりなが、 になるが、 に取るが、 になるが、 にななが、 にななが、

電車你館所より天の階階を強ってる際りとメニラが可能な花を飾っては、選路を挟んだ小高い丘には見渡するる。スイーへ延びたメヒデハの間に、優しい花盤を捨きぶつてる間に、優しい花盤を捨きぶつてる にはおかないであらう。シエレーの詩を少し位襲つて迄も、此の花 売野な飾る ひめにらは 天つ女神に 似たりかし 情の際に 色白く 秋草姚治 大連一中 竹風草人 ケ浦

需用家の信用を重じ

.

水を混ぜたり

消化のよいのはヨーグル

牛乳の話を聞く

(年 次) (檢查總數) (年 次) (檢查總數) (明和元年 一七七〇 三年 二三〇一 三年 二三〇一 二四〇六

(年 次) (檢查人員)

中折帽

0

冠り方

人のみについて記して見るさ

を振って置きませんさ溶れがひざく、色も繊せて来ますアラシできれいに壊っているのよのを使ふべきではがいものものを使ふべきではがいるのアラシを使みますご繋び帽 ブラシは左から右へ 點を描げる基になります

近りにかけ決して遊野な立てねや 通りにかけ決して遊野な立てねや う津意すべきです、若し帽子に海 をまで決してブラシを使ってはな させたり火で乾かすにも日光に直射 させたり火で乾からたりせずに盛 きずラシをかけるのですが、それ 里芋の

いので、 藤楽順中貴重なものゝ一 いので、 藤楽順中貴重なものゝ一

▼…「あかめいも」 とければ年中菜がい とければ年中菜がい に用ゐるこさが出

南方が出來る

日本人は純国産の機能の影響にあるアメリカ、マルギー、大学学の一般を観光にはないからな人の多いことはなげかはしい調である、変にこの繁変が開始していか、日本人は異事を消耗に解散し合日表だこの鑑りの影から関係を開かれたもので日収入には不知が変勢と何れも高いなどの影響ではないか、日本人には日収入には不知は主として西洋人の簡単にあるアメリカ・マル・さる又何たる自己身盤を思は主として西洋人の簡単に多数にあるアメリカ・マル・さる又何たる自己身盤を思は主として西洋人の簡単に多数にあるアメリカ・マル・ファル・カーストリヤ、等の神人以、はないか、日本人には日収入には不過点が多い、かやうなものを影けないか、日本人には日収入の整型に適能を思はざるの構だしいことであらり、からず日収の原型に已に先進度があるドイツすらも複雑したではないか、日本人には日本人の整理に適能を思ける方が、過度、帝、公は、日本人の整理に変更した要素をといふことになりはせぬか、過度、帝、日本人の変更にも明かであらう。

でもその寛が歌歌に起の候補者は、 一でもその寛が歌歌に起ってがたらに見た できるしてが大きらに見た のにはなつてるるのでもら。

大には関ロです」と

「海里」水」の画

「海里」水」の画

「本書養薬」は全職の登集店に

を 職職戦化艦の浄土を の楽店に

全国のの影単冷電器を して常要する

できる者がその窓側は来のなく

着一切の影単冷電器を 高の登集店で

るでうに銀切に無難したで働いる

を のこといる美しい材は歌歌がる

るはずである。

劉明明

生

おき変の 美はしき 花の唇 可憐にて 緑の衣の 色も遊し なが減へさ酸を歩い なんて後で遊事を書ふ様に成って に西山に遡らて、美味を渡る潮泉にも一様の潮らさを見せて來た。 「は、やうやく我慢もた。日は既 はさ、やうやく我慢もた。日は既 のでは、一様の潮らさを見せて來た。 「富真はチギ」 けたら……と思はわわけでも無か一株郷り深って、庭の陽に植えつ

激波のさどめきかだに聴きつ なって居りますが、 なって居りますが、 なって居りますが、 頂には、 くりの花を重め

は前郷の處を左手はは前郷の處を左手は

すやうな事もなく

一大は郷の左がを持つて迷ったり かに帽子の泌りだですが、勢く

この頃がうまい盛 家庭料理

な出するのみであり は「やっが 緑色で葬は浣緑色を す、これは「やつが

雅つた時の徴候動脈硬化症に

大連の日本人は支那人 できてあるが、安静ない、 であるが、安静ない、 であるが、安静ない、 であるが、安静ない、 であるが、安静ない、 であるが、安静ない、 であるが、安静ない。 であるが、安静ない。 であるが、安静ない。 であるが、安静ない。 であるが、安静ない。 であるが、安静ない。

き りに逃むばかりでなく。他務の流 一百六十ミリ から二百ミ 一酒や煙草は 一百六十ミリ から二百ミ 一酒や煙草は

れるのも既敬になって勝搏も不然になって来る、後つて心臓・脱臓・になって寒る、後つて心臓・脱臓・ではする、眩暈はする、関が悪ったり貧筋から頭部にかけて、長筋から頭部にかけて

先天的後天的

東洋光五十五十

條約上の名稱は牛莊

夫は八十里も上流

最初の税關は六十六年前

戦争毎に肥つて行つた

校司 三田村源氏談

(2)巻の口營

馬

かい

图

司

粉粉

《可型階便逾積三美》

会から七十二年前に臨って居る、 修綵館では半森を離いたこさになって居るがその特証は常然口から きないので、百年前は豪平の西沙 きないので、百年前は豪平の西沙 では、一次にある「職」である。 であったのであるが、派破の

光に変されること

仙石滿鐵

身を検性にぜればならわかも

等のため続で膨行され人事べ省に 関った事体的で、アイコフェーニウ

も知れない傾向にある

ピンに保護を加へて送り、目下は顕都に二ケ所の重像を受けれ

が自来のグリゴリエフ、

が母素のグリゴリエフ、シロコウ 管理せもめる党衙を得ふに至るや東支土地縣に厭する森林地帯でソ ない場合はソウエート幹部は自衛東魏東部線福麻神子、康椒支線の 那幡が十分保護をするこさができ

精米機の性能

第二回歌は地歌の結果率中野歌 第二回歌は地歌の結果率中野歌 大野歌友ご寄年歌の勝者

九キロのバリム、ハラ

フスクに去ったが

鼠の歴安を目前に一萬金留か投げ

東鐵貨物增加

九キロのバリム、ハラスーが間を

旅客の望診を

豫防に

警官ご驛員が協

力して

十七日の豫防委員會で決定

全奉天野球大會

管中 たりは十六日その情夫なる入江、 たりは十六日その情夫なる入江、 撫順近江亭抱蘇妓を村つや子へ一

出沒

白色破血團が

字佐美所長の病氣は經過良好で十一のため渡藤倉を開催 なた、庶民金融機關さもて活動 日露協會學校では廿四日創立記念 が外銀行創立殿賀式は十五日曜行 用心

部職間に就任した年俸一萬三千金 であるさ

襲はる

二人組强盗に

四

平街

邦人雜穀商

料は一般三十銭、軍人學生は十銭

整管演奏會は明二十十年後七時よ

大の観響を呼出し酸酸の上放還し

町のニユース

(四)

電子支那断新開業者を以て組織された報学戦合會は十六日高省議會 開會公 最名参列盛況であった

あた者で、東鐵

の支援を受けて

師範生一行六十名 十七日 七日過季哈爾濱へ中の一大大連駐在新任ソウス(大連駐在新任ソウス) 平人團一行十九名 . 十六日遼

説が有力である。

り二四〇車を押した、村の輸出資物は南行一一六八車、カスリー東物は南行一一六八車、カスリー東

るので、これが陳防默察に就き十 とて慶選の振感を凝け、製労地方。 とて慶選の振感を凝け、製労地方。 とで、これが陳防默察に就き で、これが陳防默察に就き で、これが陳防默察に就き で、これが陳防默察に就き で、これが陳防默察に就き で、これが陳防默察に就き で、これが陳防默察に就き で、これが陳防默察に就き で、これが陳防默察に就き で、これが陳防默察に就き

内蒙定期市に

いつれか真根不明である、一い

賣笑婦が先發 百名に遊し冬脚になればまだ場加、製着は生活に篩と瞬回するもの多 ける農村集團化のため支那人の

上山村沼倉嶼山田田野

第六中向益田山堀 14273 14273

1二三四五六

白系ロシ

ヤ人が

哈

赤系を迫害

局長から保護要求

江

運動シーズンで二十一日から

者影所のうつ森厳に野行される、製徳會、常識、離別城、出傷家、一般教師、国際會、常識、離別城、一般教師、国際會 串捧獎、撤饌、昇神式、直會式、降神式、献饌、祝詞奏上第五の如く

日から卅日まで最書のため保館す

小學校選手出場 、室町職小學校から選手多数一个學校繁統隆上競技大會へ西一大學校繁統隆上競技大會へ西

兵分隊長) 旅

十月五日來遼

く記地方事務所に通知があつた 世なる顔を襟襟午饕倉を開き、十 老なる顔を襟襟午饕倉を開き、十 模様である 高壓線に觸

整線電燈公司壁電所號称の山本駅 変陽電燈公司壁電所號称の山本駅 版の 職職を持つて 整像を執行する を動きたるも窓に 蘇生せて、 死亡は を動きたるも窓に 蘇生せて、 死亡は の大津能三郎が貼つけ人工呼吸を

本月十五日から鑑学明けさなったので饗友會の大水天狗奇岐、水間十五日南市が酸に戦戦に出掛けたが傾れも三四十羽宛の後端を称てが傾れも三四十羽宛の後端を称て ため十六日二十一時半安更

、第十三回商議聯合會議案審議 、第十三回商議聯合會議案審議 後数會を開きた記事項を認識する 三十分より質素會繁において定例 では十九日午後七時 武田氏送州會戦山正隆 役員會

人豆出廻協議

十四日舉行された 吉林小學校體育大會の男生徒の綱引



・ 博家甸の海峡線車館を始め襲場当 ・ は選ば響伸處から激響番内の水災

労苦を謝する 心からの送

けふ公會堂の演藝會 する模様である 宗石電燈局長

所政吉氏が内定したやうであるさ 機能電低限にも次訴し完在服長は 機能電低限にも次訴し完在服長は でしている。 一般になる。 一般にな。 一般にな。 一般にな。 一般にな。 一般にな。 一般にな。 一。 一。

妨害は

元の小石を遊べ列車で

下士卒諸君四百餘名を招じ

兩殿遼陽社會係の主催で秋季皇屋 貴紙を通じて 各位によろしく 安

には薬師、米澤越飯事、 百分は川藤職役の直後約一ケ年 一日金吾中佐は十五日十七 語る 一日分は川藤職役の直後約一ケ年 一日分は川藤職役の直後約一ケ年 一日次は川藤職役の直後約一ケ年 一日次は川藤職役の直後約一ケ年 離安に際して語る (十六) なり、繁聚は藍日に移って水に後を続した斑には牛韭は既に歐港さ 牛莊の開港

であったのである、ウキリーである、からである、かくては、密地外人な地に在する神経が記にく物能って居る通りである、かくては、密地外人な地に在すして勝る流りたさいふのである、ウキサーとかっているが、日本では湯は出来す窓に断密口である、ウキサーとかってある。 順事代、日露戦争によって験肿版 て居た、ころが日志戦争、義和 は一千八百六十四年さのここであるが交破の微すべきものがない理なが交破の微すべきものがない理ないであって、五年度における輸出ない。

特有法プストで加える。 (本語) (報酬報有法) 剣舞(機関展有法) 剣舞(機関展有法) 剣舞(機関展有法) る、プログラム左の処でも指標し公會堂におい

魚釣デー 秋季皇靈祭に 华へ

れる

獵天狗連の 活躍シーズン

仙石總裁來營期

六日九時四十五分都にて來警に決來警の鎌定なりし血石總裁は十月

實業協會定例

歯痛と 頭痛 回効散



中四日午前八時学から同岐々庭に 大で開催された。この日余朝より たて開催された。この日余朝より たて開催された。この日余朝より では下りの降雨あり天候を氣置は では下りの降雨あり天候を氣置は

一治癒し易い急性調胃力タルの電視となる。

一治癒し易い急性調胃力タルの電視となる。

一治癒し易い急性調胃力タルの電視となる。

一治療性の変化が、特で置くて発生した有害物を開除すれば危機に大力を開除すれば危機に大力を開除すれば危機に大力を開発し、関係を開発し、関係を開発し、関係を関係を表した。

で、慢性と急性の二重にです。

飛続げるさ 一十五六日 戦闘地を

大山県舎 かど 傷つけぬ様にも 大山県舎 かど 傷つけぬ様にも 大山県舎 かど 傷つけぬ様にも 大山県舎 かど 傷つけぬ様にも

特別警戒班 安東神社の

十六日市内各所を騰訪挨拶を述べ ・ 一十六日市内各所を騰訪挨拶を述べ ・ 一十六日市内各所を騰訪挨拶を述べ

新舊安東領事挨拶

無の強変押入り一名は小砂螺旋を 電揚金部築中、 製口より突然二人 電場金部築中、製口より突然二人

日本鑑道宗年會構問日本禁酒職監理事長居安平氏は來る二十六日特 が、 が大な監視し智道のよ、網票六千 五百餘元其他合能金換第七十組程 の物を強能速してが率の被害者 に傷害はなかった 長尾氏來鐵 二十六日講演

演道附近で 、野礁の音に繋がないやうにも 北方廊において微智を概行する 発着十八日から敷日間に亘り鏤 十八日から に難し識践する響 八月中經濟狀況

を以て埋まる壁の大脈はひを暴しを以て埋まる壁の大脈はひを暴し

養州選士出

李大祭を終った

朝日小學校

體育デ

長務報 計

午前十時から西公園で 特産輸出沈衰―綿糸布は活況 が 髪加者五十名以上に達する見込いが 髪加者五十名以上に達する見込い か 髪加者五十名以上に達する見込い か 髪加者五十名以上に達する見込い

し、御駆迹の兆ある時に繋門醫師 事まし、頭に襲勢が並のベスト状 のでは、頭に襲勢が並のベスト状

けよ誠忠碑祭典

本で今度地が事務所係は九名、院産費士名、 で今度地が事務所係は九名、院産費士名、 で今度地が事務所係成九名、院産費士名、 の番望を職地であため種々関 の番望を職地であため種々関

移駐中止の

四、八五四、八五四、九0 三元四 120回 120回

仙石滿鐵總裁 記載をあり、戦へを膝中上の縁に握いてあり、戦にを の戦ゆる第一、第二連は西園が盛 を響であったが、東北陸軍の関内 出兵に伴ふて他に移動するかさの 関内 は、東北陸軍の関内 **総職職事館田村書記生は近く賜暇** 田村氏送別會

鮮騰する。同日は在途有志の髪加から鴻洲ホテルにおいて送別會を ある外沿線在住同窓生も出席する 多獅島測量班

の歌を開きれた、歌手を開きれた。 の歌を問された、歌手を関するとの歌をといて全身童の歌倫を表の歌音の歌倫・画像歌歌を開きれた、歌手の歌音の歌倫・画像歌歌を開きれた。歌手の歌音を表した。歌手を表した。歌手を表した。歌手を表した。歌手を表した。歌手を表した。歌手を表した。歌手を表した。歌手を表した。歌手を表した。歌手を表した。歌手を表した。歌手を表した。歌手を表した。歌手を表した。歌手を表した。歌手を表した。歌手を表した。歌手を表した。

營口埠內汽車 公司創業 女協科と関業、工能外表、務義州商権のこころいよく、府内資砂町に対て事業・高地に於て開業準、工門目に有馬蘭科殿院の看板を掲載を以て卒業・高地に於て開業準、一十五日より開業、工能外表、新義州商

U版 銅版

へなし

かのでは、 は は がを といて か、 では できます。 は かない、 では できます。 とい が できます。 とい が できます。 とい が できます。 とい が できます。 とい、 では できます。 この できない できます。 この できます。 できます。 この できまます。 この できままます。 この できまます。 この できままます。 この できまます。 この できまます。 この できまます。 この できまます。 この できまます。 この できまます。 この できままます。 この できまます。 この できまます。 この できまます。 この できまます。 この できまます。 この できままます。 この できまままます。 この できままます。 この できままます。 この できままます。 この でき

頃發表

危く溺死、水兵に

貫業捷つ

警察軍の勝利

歡迎方法協議 十八日午

本年も根職とは政心めさなった。

駐屯軍を慰問

や美人連が

◇廿四、五の兩日昭和園で◇

月末までに竣工の豫定

医覧會は念々來る十一月一日より殿で評談中の旅順美術協會第一時 から三日間

運像徐が法につき谷関係者集合協・運像徐が法につき谷関係者集合協・

軟式野球大會 來月初旬開催の豫定

十月早々開催の歌志である 楽野歌大會開催の歌志に ▲十九日C午後一時) 大連質常 が成配に交渉中、又マルセ ▲二十日C同) 千茂對スター の場野歌大會開催の歌志に ▲十九日C午後四時) 質業對スター ・一次歌歌脈其底記能にて近く た ・一次歌歌脈其底記能にて近く た

旅順船渠工場



第十四回土曜郷座は二十日午後三カーがある。

婚禮に着ますか

り當分休業するさ

遊に郵便年金の加入者慰安さ宣

日郵便局主催

映寫加入者慰安

ミエ子さんが引いた銭で

我社の大福引の三等に當つた

は今段は富貴の家に生れ難らしては今段は富貴の家に生れ難らしては今段は富貴の家に生れ難らしては、よろと教祭して下さるのならば、よろと教祭して下さるのならば、よろとながはれる機につこめますからで、よろとないはれる機につこめますからで、よろとないはれる機につこめますからで、

ではじらいを含か、機の水の燃な、すいもい眼は多様をみはつてある。 ませて来て、軽く臓を下げながら、よせて来て、軽く臓を下げながら

進過が一般の意味が んが引いたのださ、同家は栗種大悦びである、番號札はミエ子 中野栗家で、ギョ子さん部かり 中野栗家で、ギョ子さん部かり 一大田浩氏は昭和三年二月に五 大田登高氏も敷貯む敷の 一大田浩氏は昭和三年二月に五

不用 品親切本位耳

小館に案内されて奈の西の小院 に行くさ、そこには五十ばかしの に行くさ、そこには五十ばかしの

「舎か寺」さいふ顔がかゝつてる の北の横しい、あれ果てた大きな の北の横しい、あれ果てた大きな いたが、一人旅のためごの宿屋も大きの朝に弱し、安にいたが、一人旅のためごの宿屋も

太田氏大ニコノ

あす満倶で

支那官憲に引渡

中であるが來る

です。おなたなかいま見てからじつさ なのか静つて離くにお帰びしたの です。お聞き入れ下さられば、今 って自殺するばかりでございます。 です。お問されば、今

の 焼煙であるここを見扱いて居た。 つこの化けもの扱が、足もさの明 るいうちにさつきを離れ、ぐでぐ すして居るさひつくゝるぞ」 譲店 カフェー目下発業中

貸家 五、二物置一一一一一个家八、八、

神変 (株) 大東西 (東京) 1 日 (東京

石井家畜病院 着東



移轉御知らせ 皮 軟 権 性 唐 崇 病

邦文 タイピスト短期養成

鈴木丈太郎 電話四六九二番

春日町、電三八五六番

主き 療治御望みの方は

薬はモシカワ薬局

電話七八九三番へ

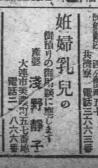
附添婦の御入用の節は

洋服類意識 筑後屋 香店



















門に河町が瀬戸物へ

球 玉付五五側より八五側とり「五十側之一九九、五側より百五十側迄」 一九九、一二十側迄

五球宝石工

通勤家政婦

高級優秀品品揃修 高級優秀品品揃修

ラチオは阿でも天勉強

第一根次第多上致 じまず 東門のヤナギヤへ 大連市領速アペート内 電ニーセニー

配達迅法

三河町 池内 電八六七五三河町 大連棋院電話八六七五三河町 池内 電八六七五

習字 速成教授

配達迅速

部より語像如何なる急性慢性でも 対解障害なき名鞭心お試してき に其効能の顕著なるかな 代理店 大連市監部新史場所角 大連市監部新史場所角

・キッ特工舎 備チオ

東京 (東京) 東東 (東東) 東 (東東) 東東 (東東) 東東

古金龍 満洲牧場 電話六一三四番

類盤 の御用命は 電話五四三九番 天帆。高級純生漉お使紙は

たのが緑戸を聴破って火煙に造げたり、妖怪は敵なはずで思って火に変るのが緑戸を聴破って火煙をある。 此印に限る状は

を展現しつくの 実際であるか、他くまで 職工業の 実際でする こきるか

でない、それでない、それ

不不死老

松代秋は柳の輝い木

あなだが、鍵のいふこさ

りませんか、あなだに怨まれ、総

ない。 ないは、 はいのないでは、 人 ために此のながないでは、 人 ために此のながないでいて、 人

になってあますので、どうかおさ ち下さい。好くない金ですが」 さ早速に金を見せだので、はじ めは小館に めは小館に がない館であり、を

淺枝次朗畫

「此の虫けらの様な幽鬼奴、 幽鬼と妖狐

ち再ただれかに迷惑をかけるに違ったが復目だ、おまへか生けておいた ひないし さなほも治験するさ、妖怪は

古本
関度勉强して頂きます
の通常器機際千山閣電四三六二

は軍部に、城が地

一様共は決して常天は日の下に横に出たなり、死んでからも連線であるさきから天地の懸ったうけてはこさいません。生に出たなり、死んでからも連線で

ラシン第古質買、交換修御衙 河島・シン店 第六六八四 一河島・シン店 第六六八四

本はが、、一旦をなく小僧を叱り付けた。 たが、、一旦をなるとしてさめてくれることになつた。 それから小僧 につれられて奥の禪房に繋内されたが、、「衆の上に一枚の産がしいてあるだけで、「難ほこりか一ばいで た。 一般は酸に驚火寒を高くさる でいぶや地にしるげるさ見るま さいぶや地にしるげるさ見るま さいぶをさがらして、一般でであり、 心をさがらして、一般に向って来 でんとうがらして、 一般に しんがく かいまし た。干氷は直に雷火珠を高くさされ、正変をなった。大歌一震、端石干年のはいてはつきばかりにな けにこけて死んでもまつた。

満日案内

金三拾銭増

光祖当

単本を着、紅の腹を をで、身には藍色の をで、身には藍色の 唐告部電話は 三六九五番です

なる母の同僚金な

目をさました。 そこには一人の歌

大連標町二七足立内電三二三〇 大連標町二七足立内電三二三〇 大連標町二七足立内電三二三〇 一大連標町二七足立内電三二三〇 一大連標町二七足立内電三二三〇 一大連標町二七足立内電三二三〇 一大連標町二七足立内電三二三〇 一大連標町二七足立内電三二三〇 カラカー 全球科 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 100

ふるつて、 張の情

る美限、天姿の秀明 さま、能称はつけて

大連劇場隣根な薬局電七八六二

音野町電話四六二

吉野町電話四六二七番

三五度病法 六七間人事所 六十十四一世 高級切員

化粧品こそは必ず

Pie

品。製物。學科はる

粉油白色 というび美



優秀…御愛用下さい! 美質(然)白粉 出来ました!

色。 質 0:

が出來ました!

自 化粧用美額水 美顔おしろい下 美頭化粧下

をな洗顔料ですが、此の頃のためにお顔の荒れてるます時 議足のできないものも無くは 思つて使つてみて、さて案外 「美酸」には全度、煉白物にも「美酸」には全度、煉白物です。(尚は

完成、發賣されました。) 職米品以上の の主要原料よりも一層優秀施の主して世界的に知

す。肌色美顔水の内容には三つの顕特のものがあります。 第一には白粉の主要原料です。肌色美顔水に吸らずれて 「美顔」の白粉類の主要原料で 「美顔」の白粉類の主要原料で 大の機 が谷化粧品研究所で多大の機 が各化粧品研究所で多大の機 ・ 自粉を水や化粧水で溶いたものに著色しただけの、書画の のに著色しただけの、書画の が、のに著色しただけの、書画の が、のに著色しただけの、書画の 第二は肌色美顔水の溶液になつてるる美容成分ですがこれは皮膚の整美に特に力あるもので、変れを助き、皮膚の整美に特に力あるもので、変れを助き、皮膚のを異へて力貌の美を長く保つた。 後後立つき共に、自粉を非にも役立つき共に、自粉を非常に容し、持きよいやうにす 良なものであります。 活動する美容成分

以上は肌色美頭水の内容の な料學的研究の成果であり 密な科學的研究の成果であり で、他工が版 があり、本方面の研究に終ては れるやうになつてゐる…こいれるやうになつてゐる…こいれるやうになつてゐる…こいれ」 しいのです。 メケして、此上なく清新に美 日本婦人に適合

朔白粉では…?

上りが肌色が勝ちすぎず又白出來てゐまず事、それに化粧

つてゐるご申せます。

たなくなり。顔にシミが出来、皮膚がたるんだりして姿色を早く衰へさせる事も診くありません。 「美顔」の化粧品は然ういふ心配の絶對にない事は申す窓もなく、化粧の美、紫鷺の美、空色の水は申す窓もなく、化粧の美、紫鷺の美、容色の水は申す窓もなく、化粧品ごして知られてゐるものでた、酸密な科學的製品ごして知られてゐるものでた、酸密な科學的製品ごして知られてゐるものでまが、世界的に有名な獨逸メルク會社で出來る原料は、桃谷化粧品研究所で研究完成したものですが、世界的に有名な獨逸メルク會社で出來る原料よりも一層純良優秀なものであります。 「衛廷「美顔」の本師「桃谷順天館」は合般、産業である。現代婦人間に「美顔」が珠に賞用されます。のもこの科學的研究に於る優秀からであります。 「衛廷「美顔」の本師「桃谷順天館」は合般、産業である。 「衛廷」「美顔」の本師「桃谷順天館」は合般、産業である。 「衛廷」「美顔」の本師「桃谷順天館」は合般、産業である。 で、初め相常良いやうに思つた化粧品でも、ま顔がきので、初め相常良いやうに思つた化粧品でも、其 否や優良さの程度等は直ぐには一寸分りにくいも九分通り成功こも申せます。所でその化粧品の良化粧品の良 科學的優秀品を…… お化粧の成功と容色の永續 ひないこ信じます。次を御覧がず皆様の郷滿足を得るに流が ひない三信じます。次を御覧 ある化粧品、小間物店等に實 ってをります。) きつご皆様のお氣に召す れの使ひ途に應じて優れた化 美顔の新製品が うお試しになりましたかい? 五つ出來ました 非常な人氣です! のお化粧なごには極めてよい ものです。そして日焼けを防 ったがも優れてみます。従来。 るがも優れてみます。従来。 シング・クリームが特によい

▲素顔の美を増す 化

性

大 ▲キメを細かに色澤をよくしすつきり

白粉のトキ水として化粧美を増す! あ、こいひますもの A、四六 お化粧さへすれば美しく見い ないない。 洗粉ご化粧水に就て

とれは粉白粉のお化粧下に は勿論、水白粉の下にも用ひ はの論、水白粉の下にも用ひ はの論、水白粉の下にも用ひ

美顔化粧下クリーム

をよく致しますから、お外出

淡紅色美顔水 | 作中お化粧顔ばかりでもをられません。それで出來ればお

が、素顔を美しくするのに良が、素顔を美しくするのに良 薫料……美顔洗粉 の嚴密な科學的研究による美顔先粉は桃谷化粧品研究 は顔剃りの後、洗顔後、入浴れてゐる化粧水です。使用法 を細かにフャを良くし、少 を調の整美用ミして顔のキ に素顔の整美用ミして顔のキ に素顔の整美用ミして顔のキ から垢メケしてすつきり

肌色白粉の流行と 日本婦人に適合する 「肌色」の種類に就て

一層生々と一層若

く一健康色の美に

呼く科學的自粉ー

此自粉のお化粧のほ んのり微かな機能を

> てみるこやわくっこ。すべ 洗ひ終へてから顔の間に觸つ

殊に評判のもの

粉を粉白粉は肌色のが殊に裏がいる。 度、化粧上りの工合なでは種 ばれます。ですが一口に「肌 100円 では、水色白粉の特長さいふべき がでは、水色を通して現はれる程のよい加色、その が の出來る白粉こして受はれる程のよりなしに清新に美しいお化粧 ひなしに清新に美しいお化粧 ひなしに清新に美しいお化粧 で は 100円 では 100円 で は 1

生が行きこそ異に若っない方かにも美は とない方かにも美は とない方かにも美は

くさしてわるくぎしつかず、何さも言へぬよい感じがします。美容上最も有効な中性脂肪を蛋白質を適度に含めてもますから絶動に面がんでをりますから絶動に面が

の美を増し…保ちも格別よくなりますし、粉白粉の化粧下にも…水白粉の化粧下に 頸化粧下ご濃化粧下には…

美質おしろい下 數段美を増し保を増す

の氣品ある白さが程よく現は ず、肌色を通して優秀な白粉

の下ばかりでなく水白粉の化 料下にも用ひられ、常用に適 かな美しさを現さない事もあの色が薄黒くなつたりして十の色が薄黒くなつたりして十 顔化粧下クリーム」は粉白粉 化粧下に用ひて、頸化粧、及これは固煉自粉や煉自粉の 優良品以上です(定價四十錢) て保ちをよく致します。從 頸化粧や濃化粧に使ふ白粉下 美顔お しろい下 白粉がよく附く事はよく す。(定價二十五銭) ひますこそんな事がありませ ましたが、此の白粉下を使

を生々こ現す科學的自粉です 此自粉のお化粧の、ほんのり 微な櫻色を含んだ清らかな白 さは、ぎんなに容貌の美を引 立てるここでせうし從つて色 立てるここでせうし從つて色 ば自然に幾つかお若くも見らいの方が薄めにお附けになれ た三美を

整つないやうな方々にも亦生。

では、又御年ば ます。総じて健康美を見せる シンから垢ヌケし 素顔の美を増す

淡紅色美顔水

ります。 **垢ヌケして美しく**

他粧用美顔水も同じく皮膚の機能から化粧料の原料に至るまで凡てに厳密な料準的研究を積んで完成したもので、お化粧下地ミして、白粉のト

です。 後等に顔の地へ数滴を軽く

新發賣

す白わり

一清新な化粧美で評判の

肌色。...美頭粉白粉 3



肌色美酸(煉)白粉 肌色固煉美額白粉はないかない

も適切です。(定慣三十銭)

歐米の高級品に優る……科學的白粉!

白色化粧料として當今第一!

皮膚を整へ其気を加へ 清新秀麗な化を上りに 美はさんらんとかく!

化粧のできる事も第一 手間暇いらず労なくお 献上の

大汽海員の

を見たるものであるので共に緊

入事異動

でされ非常に御補党遊げされたさ連れ承はる

代この程吹上御苑内に襲工と階下には十一日天覧七日登電通】御大磯に際も全國交武官より献上し

一日臨御遊ばさる

界の不況いよく、完就なるさ共に一都上職に罷樹、職職、莆山等に新大連治総會社では去る十二日源憲」條約上又日本航空會社に對する義

孝宮さま

建築協會の

刊

五周年

展

知るに努めてゐる

本社新館二階及三階十月一日より五日間

物價の低落傾向

用やく鈍 る

日左の順呼で盛大に記念式を繋行 が創立十周年になるので楽る廿四 社配法人滿洲越繁協會にては本年

來出四日より

リヤマトホテルにて とこぎごとする由

第二部

創作廣告媒體物部(甲)創

術(乙)廣告寫眞(懸賞募集)

開及印刷に關する知識普及

廣告媒體物(丙)廣告研究文献資料(丁)新

媒體物(乙)中國(支那)に於ける既成

廣告研究資料部(甲)既成

同日午後五時三十

第五部

廣告行進、餘興、即賣店

廣告展記念出版物及記念品配布

實物宣傳部

主催

滿

日報社

屋落成記念

僅に二厘方の下落 九月中の小賣物價指數は

が財界は好轉

米財界も一般に强氣

野 『東京十七日安電通』日本銀行調 八里、四月七里、五月二分九里、 日本銀行電 ケー里の各低家を続けたが九月に は調査配目百種中、贈責七、低家 ケー里の各低家を続けたが九月に 十六、保合七十七記でその標下域 ケー里の各低家を続けたが九月に 十六、保合七十七記でその標下域 ケー里の各低家を続けたが九月に 十六、保合七十七記でその標下域 ケー里の各低家を続けたが九月に 十六、保合七十七記でその標下域 ケー里の各低家を続けたが九月に 十六、保合七十七日安電通 日本銀行調 八里、四月七里、五月二分九里、

早くも店頭を飾るス

參考資料 **養廣告展覽會**

を蒐集

新築社屋にて華々しく開場 日から五日間に亘り

第一部解授嚴疑機

第四部 廣告行進は本版 の観覧に供することとなってるる振りを示してゐる

應募者のため

震告。参考品陳列

今明日、本社で【参観随意】

こがあり六十餘の小間を覧する盛 ちろん東京、大阪よりも出品の申

しかして同展覧會は全部を分つて 體物部」「實物宣傳部」「廣告於 「廣告研究實料部」「創作廣告媒 懸賞募集中の寫眞課題

料は料は () の ものを | 一般 () の ものを | 一般 () の ものを | 一般 () が 多中の () を | 一般 () が 多中の () を | 一般 () を | ・のを (

本紙銀代二十五周年越に社局新奏深感能念殿告殿中の一殿告編画」
「廣告祭に除ける最も時代の突織幅な成みであるさころから一座は廣告祭に除ける最も時代の突織幅な成みであるさころから一座を現て恋へられ旅大は然監務総会地よりし籔々出品地定書の轄込を受つ、あるが本社では右殿告殿に参考論さして陳庭する東京観を受つ、あるが本社では右殿告殿に参考論さして陳庭する東京観を受つ、あるが本社では右殿告殿に参考論さして陳庭する東京観を受つ、あるが本社では右殿告殿中の一殿告編画」

本壘打五十二本

ナ・リーグでウイルリン選手

整備、朝鮮等の代表 郷工作品、各種・建築高 の代表

第一部 麝舌毗究資料部

分は東京および大阪の大廣告社の

高松宮兩殿下 日のナショナルリーグのセントル ケ年延期するこことなつたさ 製打王さしての地位をますま を飛ばし、これで今シーズン を飛ばし、これで今シーズン

チャースの試合において

文藝講演

を、附近の名所を御見りを 同地兩般トには十七日然地仰新 日地兩般トには十七日然地仰新 日本の高松宮 フットランド御巡路中の高松宮 フットランド御巡路中の高松宮 御到着

十七日社俱で 七日年前九時五分都列車で機山一村八日來連の豫定十八日來連の豫定

版されたるさ同様の意味にて目下 にしたこれが と非さも変信局さしてはその新設 概を交へている必要に迫られてゐる事業である 除食した 臓を突へて脱き放手種に同六時ಳのにし髪に高揚することを巧なる歌

大連航空無電局

設置はまた延期

遞信局の明年度豫算

な過ごして來た男で

新患每日三四名

田扇の主なる新規事業さして要求, 部高局の査定を受けて大陸におい

排日移民法は

近き将來に徹廢

米上院 ビンガム氏語る

なるが現代犯さして と猿の眞似で

敷十年罪を発れてゐた 六十の老爺捕はる

世報監察師の登師法。 の後大連整計法、衛生係で調査 のを大連整計法、衛生係で調査 のを大連を見られる駆は電車 のを大連を見られる駆は電車 のを大連を見られる駆は電車 のを大連を見られる駆は電車 のを大連を見られる。 ので引受人の來 ので引受人の來 ので引受人の來 ので引受人の不 ので引きる。 のであり、後 である。 のであり、後

自動車用レザー

洋服·家具

冬背廣三揃服を消廣三揃服

图

セ

耐寒防水覆布

の上自玉山椒骨洞に製理し東線が 山二〇三高地其他各艘線を閉覧、 旅艇ホテルに水銀の上六時より脚 旅艇なテルに水銀の上六時より脚 が集會所における軍司令官主催の で集會所における軍司令官主催の けて直に挙九職隊の被座艦隊に向いたを受けて直に挙九職隊の被座艦隊に向いたを受けたの出述へを受けた。 分養列車で赴連の響

のパノラマであるこ

唐澤醫師の 違反事件解決

機事出級取り調べななした 右は二千四の詐欺事

横銀 湍锡広西

計数事件で 十八日登電面」小説家村上 十八日を前九時駅歌殿に は十八日午前九時駅歌殿に

書盡用品

グロボルコル

食

00

大速火山通

建物の部

一、二の陳日を招待日

告寫眞課題 さんなつてある

より五日送を一般に公

村上浪六氏

東

5

焼賣出し

日本各地名産

東京風菓子謹製

◎竹爾共謹製いたします



白

三根眼科 一種味噌 易 全日 「一種」(二十餘種)

しい新米

お

門

八十銭二十

聖徳街三八三三

一級の表面を表面のである。 「一個の一個では一点では一点である。 「一個では一点では一点では一点である。 「一個では一点では一点である。 「一個では一点では一点では一点である。 「一個では一点では一点である。 「一個では一点では一点である。」 「一個では一点である。」 「一個では一点である。」 「一個である。」 「一個では一点である。」 「一個である。」 「一個である。 「一のである。 「一ので。 「一ので。 「一のでする。 「一のでする。 「一のです。 「一のです。 「一のです。 「一のです。 「一のです。 「一のです。 「一ので。 「一ので。

定個(二十級 三十級 五十級

, 有物产品和本土或数 社合名合図玉 目录 元**资政**

精維は一球脱さかけた配を、 しからめたまり、果然さかがに表するこまが、きこえてきた。 るこまが、きこえてきた。 るこまが、きこえてきた。 であると鍵も思ふてもましたのや。 であると鍵も思ふてもましたのや。 であるとことであるとないことであるとないことであるとないことである。 であるとないことであるとないことであるとないことであるとない。 であるとない。

不快な皮膚病の治療並に お化粧下の美肌料として で肌を汚すこともなくサッパリとしてが、 原人にも飲料です。

良

薬

唐

成場石のあせもたぐれ歌歌の密、映画物、しついのぜん、たむ

郎次克藤近 杂环 長院

して直ぐハガキを御出し下さい。

だ、美つた口吹で称離に南親して がにはないさ思ってゐた父親は、まこにはないさ思ってゐた父親は、まこ

行ってるないから知れませんれ。

票滿 集日 規 贈 一

五八

一件木真

°°°

金

完完全

なる男性

(A)

さ、松しく歌く。

ってきいさくんなはれ。野う……」 てきいさくんなはれ。野う……」

既に慌てたやうに、父親は店かれやつて……」

かへしがつかない、クラア解解かないさムシ解が強くなって暗かないさムシ解が強くなって暗かない、クラア解解を クラブ刷子で用ゆると大競技心で

間入説明書と多数實験 者の告白文集を全部無 料で送呈す。

生の不運を招く

男生殖器弱小包莖

本品は燐及カルチウムの有機性化合物に して神經衰弱、結核性疾患、姙婦、授乳 婦等に適用せらる

節不稱太郎博士創製

粉末、鈴劑、膠藍劑あり――説明書返望

麻鲫 三共株式會社 大連市川縣通一九三 株式會耐三共製品取資所



の職業第六五一三人番柳ゴム製造所神田県建造町十八

包八十 粒)子 粒粒粒粒



愛せ秋や皮 用ず荒し膚のしれなを の微笑 U

ホ 玄 1 米 の宇 ジ焙 茶茶

意味

出海局側,所能以此,東東

作前十一時

SK. 158